

社会福祉法人 津山福祉会

令和元年度 事業報告

「人が好きだから 一生けんめい」

【 行動指針 】

津山福祉会の事業に従事する職員は、津山福祉会の理念に基づき次の事項を実践します。

- ご利用者を選びません。
- ご利用者を大切にし、権利擁護に努めます。
- お一人お一人の満足を目指します。
- 自己の提供するサービスに責任を持ちます。
- 自己の研鑽に努めます。
- 地域を大切にし、地域にお住いの高齢者の方、家族の方のご相談に親切に応じます。

▶ 重点項目

- * 暮らしの継続
- * 高齢者の自律と自立の支援
- * 高齢者を支える家族等の支援
- * 高齢者を支援する専門性の向上と職業倫理の浸透
- * 地域との連携の推進と地域の中の高寿園を意識した広報

▶ サービスの質の向上

- * 看取りケア指針の見直しと多職種協働によるケアとその評価システムの構築
- * 経口維持等高齢者の自立の支援に資するケア
- * 介護過程の展開に沿った根拠に基づくケア
- * 個別のニーズの把握と支援計画に基づく多職種協働
- * 担当指導者を中心としたグループによるきめ細かな新任者育成
- * 育成担当者、リーダー等役割毎の成果の検証
- * 円滑なサービス提供体制についての定期的な協議
- * 事業実施状況及び経営状態の把握と課題の検討
- * 研修の実施、受講、資格取得支援

▶ 地域との連携

- * 地域への情報発信
- * 公開講座、出前講座
- * 交流ホールを活用した地域交流事業の実施
- * 「運営推進協議会」の設置（地域住民の参加要請等）

▶ 生活支援事業

- * 生活支援サポーター養成事業
- * 地域のニーズ把握と生活支援サポーターのマッチング
- * リエゾンソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）の配置
- * 生活支援サポーター養成事業関連における他事業所との連携推進

○ 介護保険事業

急激に高齢化が進む社会の要請にこたえ、高齢者の尊厳の保持、意思決定の尊重を基本に、住み慣れた地域で安心・安全・健康な生活の継続を支援する施設として地域福祉の向上と実践に努めました。

ユニット型特別養護老人ホーム 80床 ユニット型短期入所生活介護 19床
 地域密着型通所介護 定員15名
 ふれあい交流通所サービス 定員10名 元気いきいき通所サービス 定員15名
 居宅介護支援事業所
 生活支援サポーター訪問サービス

○ 地域福祉の推進と地域連携

1) 「生活支援サポーター事業」の実施（独自事業）

高齢者等の日常生活上の困りごとの手助けを行う生活支援サポーター事業に取り組みました。

ちょっとした困りごとを生活支援サポーターが解決することで、住み慣れた地域での生活が継続でき、定期的に生活支援サポーターが訪問することで、見守りや困ったことがあった時に相談しやすい馴染みの関係が構築されています。

また、地域の元気な高齢者等が生活支援サポーターの担い手となり、サポーター活動を通じて役割を持つことで生きがいづくりや介護予防に繋がっています。

地域支援相談員は、月に1回以上ご利用者の自宅へ訪問し、サポーター活動の様子や在宅生活での新たな課題がないか等、聞き取りを行い、サービスの調整や他機関との連携に努めました

（日常生活支援総合事業）

津山市の日常生活支援総合事業の協力事業所として、生活支援サポーター訪問サービスの調整業務を行いました。

（独自事業）

津山市の総合事業の協力事業所として、サポーターのコーディネート業務を行いました。津山市の日常生活支援総合事業だけでは対応できない、生活支援を希望されている方に対して、高寿園独自事業として生活支援サポーターのコーディネートを行いました。

依頼内容	利用者(総合)	利用者(独自)	活動数(総合)	活動数(独自)	活動数(合計)
ゴミ出し	2	4	64	82	146
話し相手				1	1
掃除	1	2	14	12	26
合計	3	6	78	95	173

・コーディネート業務に関する相談

内 容	件数
生活支援サポーターの依頼（実施に至らなかったケース）	3件
サポーター事業に関する概要の問い合わせ	2件
合 計	5件

・生活支援サポーター事業の利用者への訪問

内 容	件数
利用料の集金と活動状況の確認	73件
担当者会議	2件
その他（活動の打ち合わせなど）	6件
合 計	81件

・生活支援サポーター訪問サービス事業情報交換会への出席

津山市の生活支援サポーター事業協力事業所の情報交換会に出席しました。

開催日時：令和1年12月25日 9:00~10:30

2) 送迎付き買い物サロン「ここ楽！」

平成30年11月14日（水）からスタートし、毎月第2・4水曜日に津山市内のスーパーの会議室で、こけない体操や会食、買い物などを楽しく行っています。北部地域の移動手段を持たない高齢者を対象に、家と会場となるスーパーとの間を高寿園が無償送迎しています。「自分で選んで欲しいものが買えて、嬉しい。」「体操をすることで足腰が弱らないので、休まず来ている。」「ここに来たら話をする事ができるから楽しい!」「顔見知りが増え、毎回みんなと会えるのが楽しみ。」など、参加者の嬉しい声をいただいています。生活に張り合いがでて、不便の解消や生活の質が向上している様子がみられました。

開催日時：毎月第2・4水曜日 10:30～14:00

場 所：コープ林田 会議室

参加者数

開催日	参加者			ボランティア	備 考
	男性	女性	合計		
H31. 4.10	1	10	11	5	
H31. 4.24	1	8	9	5	
R1.5.8	1	10	11	5	
R1.5.22	1	10	11	5	
R1.6.12	1	10	11	4	
R1.6.26	1	9	10	5	
R1.7.10	0	7	7	11	コープ試食会
R1.7.24	0	9	9	10	夏ボラ受入5名
R1.8.14	1	6	7	2	
R1.8.28	1	8	9	6	
R1.9.11	0	9	9	3	
R1.9.25	0	10	10	5	コープ試食会
R1.10.9	0	10	10	3	
R1.10.23	0	10	10	4	
R1.11.13	0	9	9	4	
R1.11.27	0	10	10	8	コープ試食会
R1.12.11	0	10	10	4	
R1.12.25	0	8	8	3	忘年会
R2.1.8	0	9	9	5	
R2.1.22	0	9	9	2	
R2.2.12	0	8	8	4	
R2.2.26	0	7	7	6	
R2.3.11					新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止
R2.3.25					
合計	8	196	204	109	

《参加者の内訳》

独居及び高齢者のみ世帯の方…（8人）日中お一人で過ごすことが多い方（日中独居）…（4



3) 無償送迎付きサロン『にこ楽！！』

令和元年9月20日（金）からスタートし、高寿園内で、こけない体操や会食、アクティビティ、買い物（移動販売車）などを楽しく行っています。北部地域を中心に地域住民が気軽に「集える場所」として、地域住民同士の交流、孤食の解消、多彩なアクティビティ等を通じて生活の中に潤いや楽しみ、生きがいを持てるよう参加者同士で話し、開催しています。

また、移動手段を持たない高齢者を対象に、高寿園が無償送迎を行っています。「自分ではこけないからだ講座へ通えないので、送迎をしてもらえて助かっている。」「色々なことができるので楽しい!」「みんなと会って、話ができることが嬉しい。」「大人数での食事だと、いつもより美味しく感じる。」など、楽しみを感じておられる声を多くいただいています。

開催日時： 毎月第1・3・(5)金曜日 10:30~15:00

場 所： 高寿園

参加者数

開催日	参加者			送迎 利用数	備考
	男性	女性	合計		
R1.9.20	3	8	11	7	
R1.10.4	2	7	9	5	
R1.10.18	1	10	11	5	
R1.11.1	2	8	10	7	
R1.11.15	3	9	12	6	
R1.11.29	3	7	10	7	
R1.12.6	2	10	12	8	
R1.12.20	2	9	11	6	忘年会
R2.1.17	2	7	9	6	
R2.1.31	1	7	8	4	
R2.2.7	1	6	7	4	
R2.2.21	1	6	7	4	
R2.3.6					新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止
R2.3.20					
合計	23	94	117	69	

《参加者の内訳》

独居及び高齢者のみ世帯の方…（7人）

日中お一人で過ごすことが多い方（日中独居）…（4人） 協力参加者…（9人）

《アクティビティの内訳》

紙芝居・脳トレ講座・キックボーリング・語りべ・落語・クラフト（マイバック入れ）・音楽鑑賞など。

※協力参加者が各々の特技を活かし、毎回アクティビティを提供してくださっています。



4) 地域交流

- 交流広場 in 高寿園の開催

入居者と地域の方々が和やかに交流を図り、高寿園を身近に感じていただく機会として「交流広場」を開催しました。

日 時： 令和元年11月2日（土） 11:00～14:00
 参加者： 入居者、家族、デイサービス・ショート利用者、地域住民
 共 催： とっこクラブ、ひかり学園ひかりの丘、セルプみのり
 内 容： 模擬店、遊びコーナー、アトラクションバザー、抽選会
 ※協力ボランティア 11名
 出 演： 美作大学高知県人会、鶴山桜太鼓



5) 子ども応援事業

- おもちゃ図書館の開設

おもちゃ図書館とは、障害のある子もない子もたくさんのおもちゃで一緒に遊ぶ中で互いに育み合う取り組みです。地域の親子連れだけでなく、祖父母や高寿園入居者の家族も来館し、一緒に楽しむ姿も見られ、色々な世代や立場の人が集う場となりました。また、図書館としておもちゃの貸し出しも行いました。

場 所： 地域交流ホール

日 時： 毎月第2土曜日 10:00～15:00

開催日	来館者数			ボラン ティア	貸し出 し数
	子ども	保護者	合計		
H31.4.13	8	5	13	1	4
R1.5.11	5	3	8	0	5
R1.6.8	10	5	15	1	10
R1.7.13	4	2	6	1	2
R1.8.10	2	1	3	0	2
R1.9.14	3	2	5	1	0
R1.10.12	1	1	2	0	0
R1.11.9	0	0	0	1	0
R1.12.14	4	2	6	0	0
R2.1.11	9	6	15	1	4
R2.2.8	1	1	2	0	1
R2.3					2
合計	47	28	75	6	30

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館、おもちゃの貸し出しのみ実施



- 学習室の開設
子どもスタッフが夏休みの宿題や学習をするためのスペースとして学習室を開設しました。集中して学習できるように環境を整えています。
- 「福祉の職場見学・体験ツアー」の受入
主 催 : 岡山県・岡山県社会福祉協議会
日 時 : 令和元年8月6日(火) 9:30~13:00
対 象 : 小学4年生~中学3年生、保護者
参加者 : 20名
- つやまっ子かけこみ110番
高倉小学校区の「つやまっ子かけこみ110番」の協力施設として、地域の子どもたちの安全と安心な環境づくりに協力しました。

6) ボランティアの受け入れ

入居者、在宅サービス利用者に季節ごとの楽しみを感じてほしいという思いに加え、サービス利用者のみならず「多くの人が出会う場所」としての行事企画に努めました。年中行事など季節ごとの行事をとおして、入居者、在宅サービス利用者、家族、地域住民等のコミュニケーションの機会となるよう企画しました。慰問やイベント等を地域住民にも案内することで、一緒に参加する機会を得ることができました。また、地域住民の社会参加の場となるようにボランティアの受け入れを積極的に行いました。

団体数 : 15団体 延べ人数272人
個人 : 52人 延べ人数157人
※ 別紙1 (行事・ボランティア等一覧)



7) 相談援助事業

高齢者に限らず、生活のお困り事、心配ごと等の相談を受け付けました。
相談窓口：各事業所の相談援助スタッフ

8) 研修会の開催

- 「施設ケア研究発表会」の開催
高齢社会を支える各地域の介護施設で日々行われている介護の質向上に向けた取り組みを発表し、施設相互の経験交流を通して、また外部識者等からの有益な示唆を得て、一層の質の向上を図ることを目的として、趣旨を同じくする9の社会福祉法人が合同で特別養護老人ホーム職員等の事例研究発表会を開催しました。
日 時 : 令和元年7月6日(土) 10:00 ~ 16:30
場 所 : 津山市総合福祉会館
参 加 者 : 地域住民、福祉関係者、利用者家族等 110名
発表法人 : 社会福祉法人正久福祉会 宝塚まどか園(宝塚市)
社会福祉法人播陽灘 いやさか苑(姫路市)
社会福祉法人松園福祉会 柏台デイサービスセンター空の家(倉敷市)
社会福祉法人愛誠会 唐松荘(新見市)
社会福祉法人鶯園 千寿荘(真庭市)

社会福祉法人幸輝会 作東寮・みまさか園（美作市）
 社会福祉法人加茂光陽会 緑山荘（津山市）
 社会福祉法人日本原荘（津山市）
 社会福祉法人津山福祉会 高寿園（津山市）

発表事例数：9事例

- 「出前市民講座」の開催
 施設の専門職の技術や知識を地域住民に伝え、安心安全な生活と健康づくり等に寄与するため、職員が講師となり、市民講座を地域に出かけ開催しました。

日時	テーマ	会場	参加者
R1年6月21日 10:00~11:30	介護予防講座・棒体操 講師：作業療法士	上横野会館	25名
R1年10月17日 13:30~15:00	特別養護老人ホームについて 講師：社会福祉士	鉄砲町会館	21名
R1年11月20日 10:30~12:00	特別養護老人ホームについて 講師：社会福祉士	田熊ふれあいセンター	26名

9) 運営推進会議の開催

津山市北部地域の福祉活動に関わる機関・団体の代表者への活動状況の報告や情報交換を通して、地域に開かれた事業運営及びサービスの質と地域福祉の向上を目的として運営推進会議を開催しました。

委員：町内会長、民生委員、老人クラブ、愛育委員、消防団、公民館、地域代表
 入居者家族、法人理事 11名

開催日	内容
R1.7.25	平成30年度事業報告 元気いきいき通所サービス、ふれあい交流通所事業について 地域密着型通所介護事業について 地域課題について意見交換
R2.2.26	元気いきいき通所サービス、ふれあい交流通所事業について 地域密着型通所介護事業について 子ども応援事業について 地域の災害支援について 地域課題について意見交換

10) 役員会の開催

適切な事業運営に向け役員会を開催しました。※別紙2（役員会等の開催状況）

○ 防災対策

* 自主組織による防災訓練の実施

実施日	避難訓練・講習等	講師・協力	利用者	職員
H31.4.24	心肺蘇生法・AED研修	津山圏域消防組合1名 団員2名	/	26
R1.5.14	消火訓練 ・消火用散水栓放水・消火器による消火訓練	(株)ガット2名	/	25
R1.11.15	消火訓練・避難訓練 ・消火用散水栓放水・消火器による消火訓練 ・安全で迅速な避難誘導の実践	(株)ガット2名	38	46
R2.3予定	避難訓練(夜間想定)・通報訓練 ※新型コロナウイルス感染防止の為中止			

居室等の電気設備点検 月1回 備蓄品（飲料水・食品等）の確保と管理

＊ 福祉避難所の整備

津山市から「災害時に要援護者の福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」に基づき福祉避難所の指定を受け、緊急時に備えました。

○ 職員の採用および育成

職員の確保と新規採用に向け、ハローワーク、大学、専門学校等への情報提供及び採用事務をすすめました。

- 学校等訪問活動 大学1校 高等学校2校
- 福祉の仕事フェア等への参加
津山市内3回 岡山市2回 延べ面接者数13名 延べ参加職員数12名
- 次代の人材育成として積極的に実習生等を受け入れました。

実 習 名 等	学 校 名 等	人数	期間(日)
介護等体験実習	美作大学他3大学	9	各5
介護実習	美作高校福祉コース 2年	2	16
	美作高校福祉コース 3年	2	35
社会福祉士相談援助実習	美作大学・日本総合研究所	2	各25
産業現場実習	誕生寺支援学校	1	28
夏のボランティア体験	市内中学生	11	各3

○ 「ワーク・ライフ・バランス」の推進 ～働き続けやすい事業所を目指して～

＊ 両立支援事業

- おかやま子育て応援宣言企業 登録 平成28年8月1日（登録証第28008号）
- 津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業 認定 平成29年4月1日
- 両立支援委員会 （委員21名）

職員が仕事と家庭の両立ができ、意欲的に働き続けられる職場環境について検討しました。

開催日	協 議 題	出席者
R1.5.7	高寿園の両立支援パンフレットの作成について オリジナル取り組み紹介について	9
R1.6.4	高寿園の両立支援パンフレットの作成について オリジナル取り組み紹介について 原稿の確認	14
R1.7.2	高寿園の両立支援パンフレットの作成について 夏休み子ども絵画展示について	13
R1.11.5	高寿園の両立支援パンフレットの作成の振り返りと活用について 夏休み子ども絵画展示の振り返り	11
R2.3.3	新型コロナ感染拡大に伴う子どもスタッフの受け入れについて 令和元年度の振り返り	8

• 子どもスタッフ

長期休暇等に子どもとともに出勤し、親の職場や仕事に触れる機会を作りました。高齢者とのコミュニケーションやできる手伝いなどの役割を果たすとともに、施設内に明るい笑顔を広げてくれました。



こどもスタッフ出勤状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	5			5	8	1						7	26
延べ	20			10	41	4						51	126

※3月は新型コロナウイルス感染拡大により小学校が休校になり受入

*** メンタルヘルスケア（心の健康づくり）**

- 「お母さんの相談室」

外部協力者（民生委員、知的障がい者相談員）とスタッフまたは入居者が、1対1のゆったりとした雰囲気の中で会話をしたり、話を聞いてもらえることで、気持ちが落ち着いたりリフレッシュすることができました。

日 時	お母さん	面談者	人数	日 時	お母さん	面談者	人数
1.5.23	1	相談員・介護士	2	1.8.29	2	相談員・実習生	2
1.6.27	2	介護士	1	2.1.23	2	介護士	1

※ 時間は概ね14：00～16：00

- ストレスチェックの実施

令和1年11月1日～11月30日 実施者 9名

結果について産業医と共有し、職員のストレスをサポートする体制を整えました。

○ サービス調整会議 ～ご利用者の満足の為に～

1回開催/月

*** 事業全般のサービス向上**

- 身体拘束適正化
- 事故防止
- 感染症及び食中毒まん延防止
- 褥瘡ケア
- 衛生管理
- 苦情対応
- 広報・行事企画
- 地域交流事業
- ワーク・ライフ・バランス
- 各委員会活動報告（別紙5）

感染症及び食中毒まん延防止、事故防止、利用者の尊厳（身体拘束適正化）については、特に、職員への研修（下表参照）と対策の検討を行い、法人内の周知徹底を図りました。

職員会議での周知及びユニットごとに研修開催を実施しました。

	研 修 内 容		研 修 内 容
4月	高齢者の脱水予防、口腔ケアについて ノーリフティングケアについて	10月	感染対策と吐物処理について、服薬事故防止について、ストレスチェックについて
5月	食中毒予防の3原則と水分補給 気温の変化に伴う褥瘡予防	11月	インフルエンザ予防について、高齢者の保湿について、認知症ケアについて
6月	疥癬対策について、熱中症対策について、腰痛予防について	12月	インフルエンザ予防について、転倒予防について、居室の環境整備について
7月	身体拘束適正化について、事故防止について、熱中症対策について	1月	スタンダードプリコーションについて、腰痛予防と栄養について
8月	熱中症対策について、事故防止について、腰痛予防について	2月	新型コロナウイルスについて
9月	皮膚トラブル予防について、RSウイルスについて、スカイリフトについて	3月	新型コロナウイルス対策と体調管理について

*** 事故防止・リスクマネジメント**

事故防止と身体拘束適正化の取り組みを行い、安心して生活できる環境づくりと自立の支援に努めました。

ユニットや専門職、多職種協働のカンファレンスを行い、多様な視点で事故の要因を探り事故の再発防止に努めました。また、よりよい事故原因の分析のため、事故報告やヒヤリ・ハットの様式の見直しを行いました。

日々の生活のご様子や記録を通して危険を予測したケアに努め、起こった事故は振り返りと分析など事後策を検討して再発防止に努めました。

また、ユニット内で起こった事故は、全ユニット、スタッフに伝達し、事故内容・対応策を共有する事で事故防止を働きかけました。

事故件数：16件

事故後カンファレンス回数：31件

事故内容	件数	事故内容	件数
転倒	7	打撲	1
転落	1	見守り不足にて屋外へ	1
配薬・服薬などの誤り	2	骨折	1
裂傷	1	火傷	1
すり落ち	1	合計件数	16件

・月別事故・事故カンファレンス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計事故数	0	1	1	1	4	1	1	2	1	1	1	2	16
特養		1		1	3	1	1	1			1	2	11
短期					1				1	1			3
デイ			1					1					2
カンファレンス	0	2	2	1	6	0	2	6	2	2	3	5	31
特養		2		1	4		2	5			3	5	22
短期					2				2	2			6
デイ			2					1					3

* 身体拘束適正化委員会

利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束をしないケアの実施に努めました。

委員： 施設長、事務局長、看護師長、介護士長、介護支援専門員、栄養課係長、相談員、作業療法士、管理栄養士、ユニットリーダー、居宅管理者、通所管理者

開催日	協 議 題	出席者
H31.4.25	事例報告、今年度の取り組みについて	13名
R1.6.25	事例報告 意見交換	11名
R1.7.25	身体拘束を防ぐためのケアの工夫、事例報告	12名
R1.9.25	身体拘束を防ぐためのケアの工夫、事例報告	12名
R2.1.31	身体拘束を防ぐためのケアの工夫、事例報告	13名

* 衛生管理

「健活企業宣言」に認定（全国健康保険協会岡山支部：平成28年7月12日）

認定証第2810224号 平成30年度のランク「A」

腰痛対策 … 腰痛調査、ストレッチ

毎日入居者及び職員のラジオ体操実施

季節ごとの職場環境の不具合の調査と改善、施設・設備点検

メンタルヘルスケア … ストレッチ、ストレス解消法、ストレスチェック等

○ 職員研修システム

* 法人内における研修

1) 職員会議における短時間研修 全職員対象

研修内容 感染症まん延防止 衛生管理 身体拘束適正化
事故予防・再発防止 接遇 倫理 褥瘡ケア
スキンケア 等々



2) 各分野における研修

研 修 会 名	開催日	講 師	参加人数
救急救命講習会	H31.4.24	津山圏域消防組合	26名
接遇研修	R1.5.13	ボイストレーナー	9名
口腔ケアの基本と実際	R1.5.13	歯科衛生士	33名
食中毒の予防と手洗いの方法	R1.6.6	美作保健所職員	36名

研修会名	開催日	講師	参加人数
リスクマネジメント研修	R1.6.28	作業療法士	38名
虐待防止研修	R1.10.1	(株)リブドゥコーポレーション 福野初夫氏	受講48名 レポート78名
リフトリーダー研修	R1.9.2~4	リフトリーダー研修講師 いやさか苑 田上施設長	15名
排泄・褥瘡予防研修	R1.9.12	排泄・褥瘡予防委員会	12名
	R1.10.17		9名
	R1.11.20		7名
スカイリフト研修	R1.10.30	アイ・ソニック(株) 社員	20名
	R1.11.14		10名
リスクマネジメント研修	R1.11.26	作業療法士	受講41名 レポート39名
食中毒・感染予防研修	R2.1.16~31	看護師長	51名
看取りケア研修	R2.3.18	看護師長	10名
口腔ケアミニ研修	R1.11.14~ R2.3.17 (計17回)	歯科衛生士	72名

3) 施設見学

施設名	見学日	参加人数
特別養護老人ホーム ウエルプラザ洋寿荘	H31.4.18	7名

* 外部研修

認知症介護基礎研修、ユニットリーダー研修、アセスメント基礎研修、感染症対策研修会、虐待防止等ケアのスキルアップに資する研修会の受講しました。
また、リフト導入に向け、リフトリーダー研修の受講、ノーリフティングケア視察を行いました。

※ 別紙3 (研修等一覧)

《令和元年度資格取得者及び受講修了者》

- ・ 介護福祉士の取得者 2名 (25名)
 - ・ 介護職員実務者研修 5名 (7名)
 - ・ 認知症介護実践者研修修了者 1名 (15名)
- () 内は全体のR 2.3.31の資格保持者及び受講修了者数

○ 組織強化

* 組織強化ミーティングの開催

毎月1回開催

社会保険労務士をコンサルタントとして、組織体制の強化、各部門の役割分担と連携、事業展開、地域貢献活動の構築等について検討を行いました。

- ・ 事業の方向性、各部門の役割と連携、経営者の果たす役割について
- ・ 就業規則の改定 ・ 組織体制の改善 ・ 人材の確保、労働環境

○ 平成30年度事業報告会の開催

入居者・利用者、家族及び地域住民等を対象に、事業の実施状況等の理解促進を目的として、所属長や専門職による報告会を開催しました。

日時： 令和元年7月25日(木) 10:00~11:30

参加者： 8名

○ 第三者委員会の開催

本事業所に対する入居者、家族等からの苦情に適切に対応する体制を整えるため第三者委員会を設置しています。年度内の苦情の受付内容と、事故の内容・件数等の報告を行い助言をいただきました。

日時：令和元年6月5日（水） 15:35～16:50

出席者：第三者委員、理事長、施設長、事務局長、在宅部長、事務局次長、看護師長、介護士長、介護士主幹、介護支援専門員、栄養課係長、作業療法士、相談員

内容：苦情の内容及び対応について、事故報告について

第三者委員：弁護士、津山市民生児童委員連合協議会会長、津山福社会監事

○ 広報活動

入居者・利用者のお過ごしの様子、スタッフの取り組み等、イベントの紹介や日常の様子の発信を随時行い、広く高寿園を知っていただけるよう広報活動に努めました。おもちゃ図書館の利用状況などをリアルタイムに発信する為にツイッターのアカウントも開設しました。

- * 採用者向けパンフレットの更新 * 高寿園だよりの発行 3回/年
- * ホームページ・フェイスブック・ツイッターの更新 随時
- * 研修等講師、外部団体のイベント等への派遣・参加

○ 介護相談員の訪問

市町村に登録された介護相談員による、入居者や利用者との面談等から問題の改善や介護サービスの質の向上につなげました。

介護相談員 2名来園

4月	デイサービス利用者 1名	10月	特養入居者 1名
6月	特養入居者 1名	12月	デイサービス利用者 2名
8月	デイサービス利用者 2名	2月	特養入居者 1名

○ 新型コロナウイルス対策

岡山県内で新型コロナウイルス感染者がでたため、3月24日付けで特養入居者の外出及び面会の中止、在宅サービス利用者の検温等注意喚起の文章を送付しました。

以下の会議で対応等について協議

2月25日 幹部会議 3月12日 サービス調整会議 3月24日 幹部会議

《特別養護老人ホーム》

【運営方針】

全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。

住み慣れた地域で最期まで、その人らしく、生活できる援助を行います。

- * 個々の利用者がそれぞれの「暮らし」が継続できる「ユニットケア」を行います。
- * 個別化を重視し、個々の自己実現に対し積極的にアプローチを行います。
- * ご利用者個々の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
- * 地域に親しまれる施設作りを目指し、地域と密着した事業・サービスを提供します。

○ 職員配置（令和元.3.31）

職名	人数	職名	人数
施設長	1	管理栄養士	1
生活相談員	2	調理員	5.1
介護士	36.8	栄養士	(1)
介護福祉士	(18.2)	作業療法士	1
看護職員	4.9	歯科衛生士	0.1
看護師	(3.9)	音楽療法士	1
准看護師	(1.0)	事務員	6
介護支援専門員	2	運転手・環境整備員	2.6

※人数は常勤換算により計算

() は再掲

○ 医療連携

* 嘱託医

大海 庸世	(おおうみクリニック)	隔週	水曜日回診
松下 明	(奈義ファミリークリニック)	隔週	火曜日回診
平井 龍三	(勝北診療所)	隔週	土曜日回診

* 産業医

大海 庸世 (おおうみクリニック)

* 協力医師

赤枝 輝明 (津山東クリニック : 内科、泌尿器科)

* 協力医療機関

積善病院	(精神科、神経科、内科、歯科)
津山第一病院	(消化器科、循環器科、整形外科等)
近光整形外科	(整形外科)
日本原病院	(内科、神経内科、循環器内科等)

* 協力歯科医療機関

内田歯科クリニック

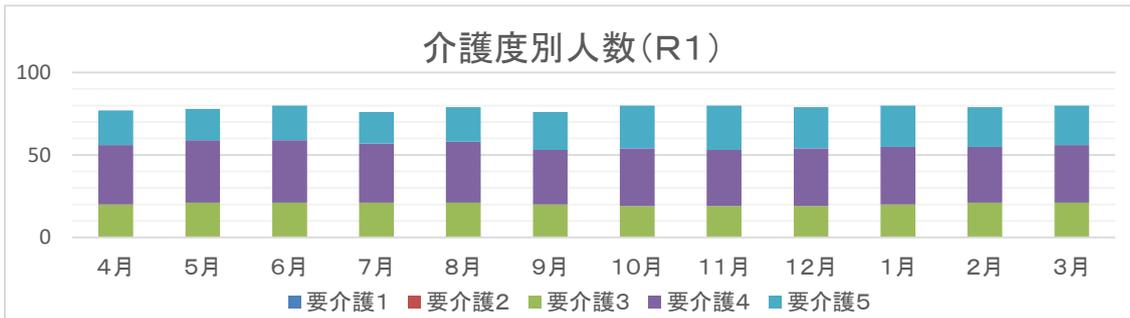
○ リーガルサポート

竹内俊一弁護士事務所

○ 入居者状況

提供年月日	入居実延べ日数（上段）／人数（下段）						外泊、入院等	
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	延べ日数	人数
平成31年4月	0	0	20	37	21	78	67	4
	0	0	583	1,093	588	2,264		
令和元年 5月	0	0	21	38	21	80	23	3
	0	0	635	1,169	592	2,396		
6月	0	0	21	38	21	80	26	5
	0	0	614	1,132	605	2,351		
7月	0	0	21	38	21	80	34	6
	0	0	648	1,103	596	2,347		
8月	0	0	21	38	21	80	112	7
	0	0	650	1,049	594	2,293		
9月	0	0	20	34	27	81	12	3
	0	0	599	993	659	2,251		

提供年月日	入居実延べ日数（上段）／人数（下段）						外泊,入院等	
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	延べ日数	人数
10月	0	0	20	35	26	81	12	2
	0	0	601	1,037	785	2,423		
11月	0	0	19	35	28	82	18	3
	0	0	570	982	816	2,368		
12月	0	0	19	37	26	82	23	5
	0	0	560	1,102	790	2,452		
令和2年 1月	0	0	20	35	26	81	35	4
	0	0	598	1,059	765	2,422		
2月	0	0	21	36	25	82	48	6
	0	0	597	947	720	2,264		
3月	0	0	21	36	25	82	26	2
	0	0	651	1,027	755	2,433		
合 計	0	0	244	437	288	969	436	50
	0	0	7,306	12,693	8,265	28,264		



月別入・退居者数

平成30年度末現員	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	令和元年度末現員
78	入 居	0	3	2	0	4	2	5	2	2	2	2	3	27	80
	退 居	1	2	0	4	1	5	1	2	3	1	3	2	25	

市町村別 (R2.3.31現在)

市町村名	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
津山市	0	0	17	29	24	70
鏡野町	0	0	3	2	0	5
美作市	0	0	1	2	0	3
奈義町	0	0	0	1	0	1
倉敷市	0	0	0	1	0	1
合計 (5市町村)	0	0	21	35	24	80

年齢と性別 (R2.3.31現在)

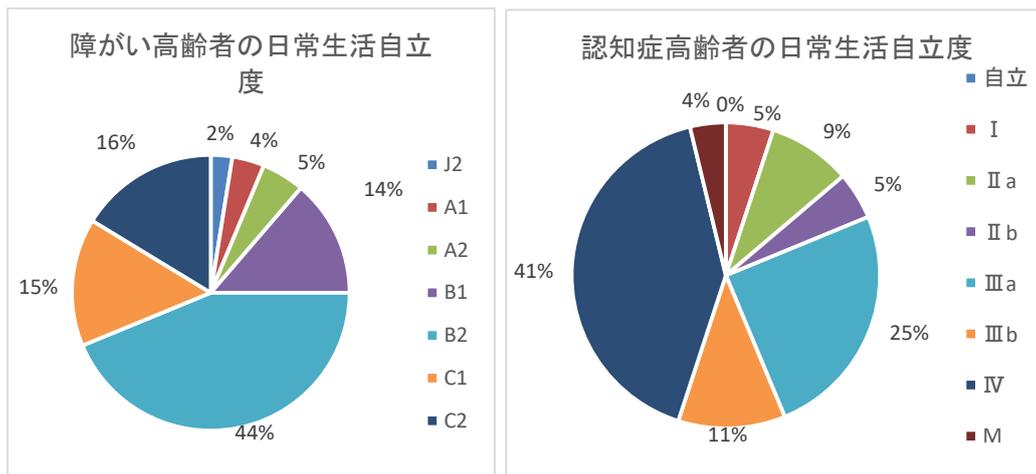
	60歳未満	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100歳以上	合計	平均年齢
男性	0	0	1	1	0	5	4	5	0	0	16	85
女性	0	0	0	1	1	11	18	18	12	3	64	89.9
合計	0	0	1	2	1	16	22	23	12	3	80	88.9

障がい高齢者の日常生活自立度 (R2.3.31現在)

	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
人数	2	3	4	11	35	12	13	80

認知症高齢者の日常生活自立度 (R2.3.31現在)

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
人数	0	4	7	4	20	9	33	3	80



入居者介護状況 (日常生活動作)

日常生活動作			人数	日常生活動作			人数
移動	車椅子		67	排泄	おむつ		36
	歩行 (補助具あり)		9		トイレ (夜間おむつ)		22
	歩行		4		トイレ (常時)		22
食事	全介助		10	入浴	特浴		25
	一部介助		14		中間浴		0
	自立		51		個浴		55
	経管栄養		5				

在所期間 (R2.3.31現在)

	1年未満	1年以上 ~ 3年未満	3年以上 ~ 5年未満	5年以上 ~ 10年未満	10年以上 ~	合計	平均在所期間
男	5	5	3	2	1	16	3年1ヶ月
女	20	24	8	12	0	64	2年8ヶ月
合計	25	29	11	14	1	80	2年9ヶ月

退居者内訳 (性別)

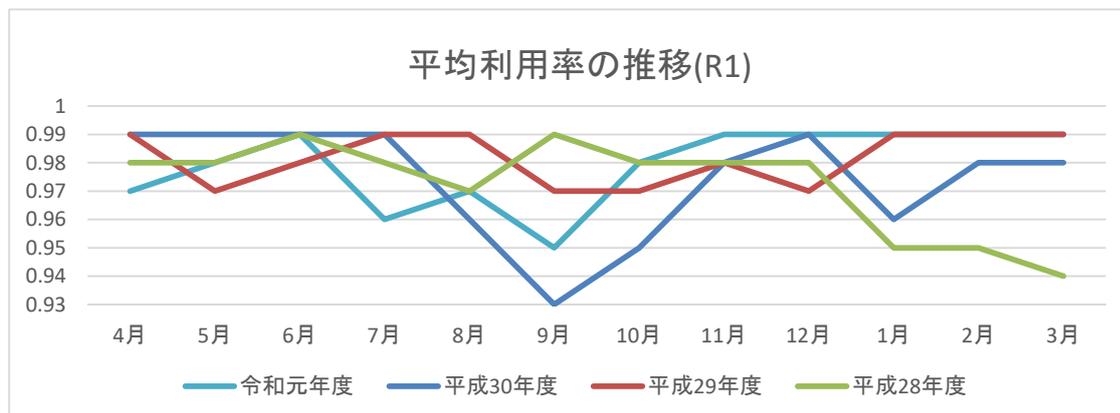
男性	女性	合計
9	16	25

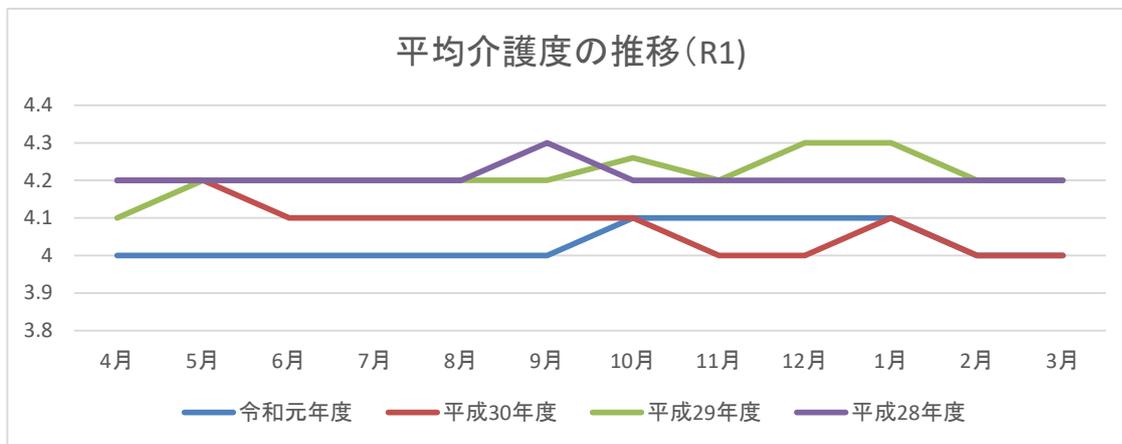
退居者内訳 (区分)

死亡	入院	在宅	他施設	合計
19	5	0	1	25

退居者 (死亡者) 内訳

老衰	心不全	敗血症	誤嚥性肺炎	肺炎	合計
13	1	1	1	3	19





1.生活相談援助

入居者・ご家族の不安やご要望を真摯に受けとめ、サービスの向上に寄与するよう、法人内専門職種の連携に努めました。

入居者の権利擁護に努め、その代弁者としての役割を果たすよう努めました。

地域福祉の拠点としての施設を念頭に、地域の福祉の向上に努めました。

医療・保健・福祉、行政、地域組織等、関係諸機関との連携の強化に努めました。

* 入居者・ご家族の生活相談援助

- ・ 新規入居者のご家族と密に連絡をとり、不安なく入居ができるよう努めました。
- ・ 話しやすい雰囲気づくり …相談室を整備し、気兼ねなく話ができるよう配慮しました。
- ・ 個別にお部屋に訪問して話を伺うなどそれぞれの「暮らし」が継続できるよう努めました。

* 入居待機者へのアプローチ

入居検討会議の開催	12	回
待機者面接	49	件
入居申込前の相談	98	件
入居申込件数	73	件

* 新規入居者受入れに伴うカンファレンス

入居説明・調整	31	件
入居前カンファレンス	27	回
入居時カンファレンス	27	回

◀ 待機者状況 ▶ R2.3.31

要介護度別

要介護度	人数
要介護 1	3
要介護 2	6
要介護 3	14
要介護 4	17
要介護 5	10
更新中・未確定	3
合計	53

居所別

居所	人数	居所	人数
在宅	20	サービス付高齢者住宅	1
老人保健施設	8	養護老人ホーム	1
有料老人ホーム	1	グループホーム	3
軽費老人ホーム	1	入院	18
合計			53

2.介 護

入居者一人ひとりに満足・安心していただけるように、心身の状況、性格、適応性、理解力等を正確に把握するよう努め、施設サービス計画書（ケアプラン）に基づく統一されたケアの実施に努めました。また日常の生活を記録して職員間で共有し、支援目標やケアの見直しを行うなど、より適切なケアを追求しました。

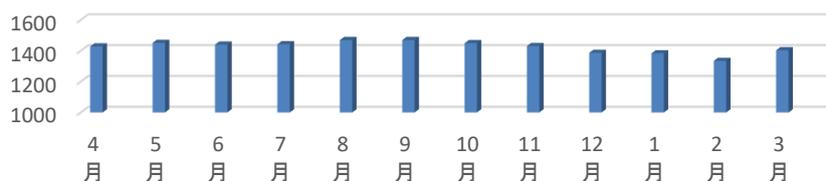
暮らしの継続を基本とするケアを目標に、入居者の気持ちを尊重した関わりを行い、ご家族との連携を心掛けました。個別ケアの充実を図るため24Hシートの更新を行ない、常に適切なケアを提供しました。

清掃についての意識を高め、心配りが心磨きである事の浸透に努めました。清潔な環境の中で居心地の良い暮らしと働きやすい環境を作りました。

移転後3年が経過して、ユニット独自の特色も見えてきた中、施設ケアの統一が課題となり、特色を生かしつつケアの質の低下を招かないよう情報共有を密に行ないました。

- * 入居者が望む生活の実現と個別ケアの実施
入居者をお迎えする段階から、アセスメントを十分に行い、その人らしさを追求したケアを検討しました。
入居後は多職種が連携して、ケアプランに基づいたケアを展開しました。
毎月の「生活のご様子」をご家族へ発送しました。
- * 入居者一人ひとりのかけがえない生命の確保
水、食事、排便、運動を基本として、介護の専門職として根拠に基づいたケアを実施しました。
 - 一日1,500～2,000cc以上の目標を設定して、個々の嗜好や個別の時間帯や量を把握して、目標達成できるよう工夫をしました。
 - 自然な排便が行えるように、センナ茶を飲用して薬剤に頼らないケアを行いました。
 - 食事の常食化への移行と維持に取り組みました。

平均水分量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均水分量	1428	1451	1440	1442	1469	1469	1449	1430	1386	1383	1334	1403

- * 入居者が意欲を持ち生きる喜びを感じてもらえる支援
食事目的の離床にとどまらず、日中のアクティビティをユニット単位で工夫しました。
生活の中で楽しみを見だし生きる喜びや意欲につながる支援を行いました。また、ユニットの外での入居者間や職員との交流の場を作りました。
 - ユニット外へのお出掛け
 - サンプルームでのカラオケ
 - 施設全体の行事に向けての作品出展
 - ユニット体操
 - 個別アクティビティメニュー作成と実施
- * 入居者の生活に潤いを与えて豊かにする支援
家族や友人とゆったりと面会いただけるようくつろげる空間づくりに努めました。
家族からの外出の申し出も増えました。
ユニット毎に計画した外出の支援や四季を感じる行事は、家庭的な雰囲気楽しんでいただきました。ユニットでの長寿をお祝いする誕生会は、家族でお祝いする誕生会のように温かさあふれ、入居者と家族に喜んでいただきました。
移動スーパーやパン屋の訪問販売は、買い物に出かけて選ぶ楽しみを感じ、訪問理美容師が訪れるヘアサロンでは、お気に入りのカットやカラーをしてもらい、おしゃれをしに出かける楽しみも感じていただきました。
 - とくし丸（移動スーパー） 毎週金曜日
 - ポエムパン（移動販売） 毎週水曜日
 - ヘアサロン（理美容師の訪問理美容） 月2～4回



《ヘアサロンの利用状況》

	カット	パーマ	カラー	顔そり		カット	パーマ	カラー	顔そり
4月	29		3	1	11月	31	1	4	
5月	27	1	5	1	12月	34		4	
6月	34		2		1月	26		2	2
7月	25		2		2月	37	1	1	
8月	20	2	3		3月	29	1	3	2
9月	32		5		合計	352	6	37	6
10月	28		3						

《外出の状況》

月	入居者数	外出先	延べ日数	月	入居者数	外出先	延べ日数
4月	6	自宅	6	10月	2	自宅	3
	2	ドライブ	7		1	ドライブ	2
	1	外食	1		1	散髪	1
	1	法事	1	11月	5	自宅	5
3	自宅	4	2		ドライブ	2	
5月	2	ドライブ	2	12月	3	自宅	4
	1	結婚式	1		2	ドライブ	5
	1	法事	1		1	外食	1
5	自宅	6	1		買い物	1	
6月	1	ドライブ	3	1月	5	自宅	6
	2	自宅	3		1	ドライブ	1
7月	1	ドライブ	2		1	外食	1
	1	外食	1		1	墓参り	1
	1	散髪	1	2月	1	自宅	2
3	自宅	4	1		ドライブ	1	
1	ドライブ	3	1		外食	1	
8月	1	外食	1	3月	1	自宅	1
	1	法事	1		1	外食	1
	7	自宅	8	合計	43		59
9月	2	ドライブ	3				

《外泊の状況》

月	入居者数	外泊先	泊数	月	入居者数	外泊先	泊数
5月	1名	自宅	2泊3日	10月	1名	自宅	2泊3日
6月	2名	自宅	1泊2日	11月	1名	自宅	1泊2日
8月	1名	自宅	2泊3日	12月	2名	自宅	2泊3日
9月	1名	自宅	2泊3日	1月	1名	自宅	2泊3日

《面会者の状況》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
303	357	356	371	392	354	304	309	412	395	276	232	4,061

ご家族でゆったりと過ごせる環境・雰囲気づくりに努めました。穏やかに嬉しそうにご家族と話をして過ごされるなど、ご家族だけの時間を大切にすることでご家族にも安心していただけたと思います。

また、ご家族とも馴染みの関係性を築くことで、おうちで過ごしていたころの様子やご希望等を伺うことができるなど、ユニットでのケアに理解と協力をいただきました。

- * 適切なケアの提供と事故のない安全な施設生活の確保
入居者の自立した生活の支援のために必要な事項、取り組みの状況をユニット間で共有し、課題の解決に向けて協議しました。入居者の状態変化に伴うカンファレンス、事故発生後の再発防止カンファレンスを随時開催しました。事故防止の考え方の知識が身につく、適切なケアが提供できるようになりました。
 - * 身体拘束をしない為のケアの工夫
身体拘束をしない為のケアの実践をユニットがまとめて毎月発表して情報を共有しました。
個別ケアの状況を知れ、他のユニットのケアの工夫が学べ施設全体のケアの質の向上につながりました。
 - * ユニットリーダー同士が課題を共有したり、取り組みの進捗について情報交換することで、全体的なケアの方向付け（ケアの理念に基づくケア）ができ、各ユニットに持ち帰って施設全体の浸透に努めました。
 - ・ ユニットリーダー会議 毎月1回開催
 - ・ ユニットミーティング 2ユニット毎 随時
 - * ユニットケアの充実に向けた取り組み
自立支援を基本とした個別ケアを実施しました。
 - ・ 24Hシートの作成、改変、基づくケアの実施
ケアの中で変化に気づき、タイムリーな更新を行ないケアの向上に努めました。
- ※ 別紙4（ユニット報告）

3.その人らしい穏やかな生活の実現のために～多職種協働～

- ・ ご本人・ご家族の意向をくみいれて、ご本人がご本人らしく、穏やかな日常生活を送れるように、施設サービス計画書を作成しました。
体調維持、身体機能の維持・向上、日常生活のなかでの楽しみや生きがい等を考えて作成しました。
- ・ サービス担当者会議を開催して、多職種間で協議しました。
入居時はご家族が出席されて会議を開催しました。
- ・ 定期的なモニタリングを行い、入居者の状況や支援の実施状況を把握しました。
- * サービス担当者会議開催の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期	10	8	10	10	6	5	9	7	7	8	12	7	99
入居時		3	2		4	2	5	2	2	2	2	3	27
退院前	1			1							1		3
看取りプラン			2										2
ショートステイ	4	3	2	8	4	7	3	4	4	3	1	1	44
合計	15	14	16	19	14	14	17	13	13	13	16	11	175

- ・ 認定調査立ち合い件数…57件

4.生活の中の機能訓練

日常生活の中で、ご自身が持つ心身機能を生かし、安心した生活が送れるよう支援しました。

リハビリ会議の開催

入居者 リハビリ会議 309件

入居時 リハビリ会議 27件 合計 336件

状態変化（入院等による変化）による計画書作成 5件

- ・ リハビリ会議の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	30	25	22	29	23	24	31	27	24	25	28	21	309
入居時		3	2		4	2	5	2	2	2	2	3	27
状態変化		1			1						3		5

※ 状態変化（入院等による変化）による計画書作成

• グループ活動の実施

①リハカラ会

リハビリを目的にしたカラオケを行いました。 毎週水曜日

- 他ユニット間の交流
- 発声による嚥下機能の維持、向上
- 離床する機会を持つ
- 楽しむ場の提供
- 発語の促し など

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	18	25	21	0	9	8	9	9	18	0	10	19	146
実施回数	2	2	2	0	1	1	1	1	2	0	1	2	15

②長寿の会

長寿の会は体力維持と入居者同士の交流を図る目的で、こけない体操の簡易版や口腔体操、茶話会をおこないました。毎週の会を楽しみにされ、活動性の向上につながりました。週1回、少人数（5～8名）で行っていましたが、令和2年1月からは、参加人数の増加のため2グループ（月曜日：ぼたん、火曜日：すみれ）に分けて行いました。同時に体操時の使用曲を季節の曲や馴染みのある曲に変更し、伴奏はピアノ演奏で行いました。

時間：13:30～15:00 実施回数：46回 参加者：延べ300名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	22	24	16	24	22	24	24	15	40	21	24	44	300
実施回数	4	3	2	3	3	3	3	3	5	4	5	8	46

※1月より2グループ実施

長寿の会で季節を感じ、交流を図る目的で外出を行いました。

- 7月1日にグリーンヒルズを散策し、茶話会（ジェラート、緑茶）を行いました。
- 11月11日に津山市内をドライブして色づいた山々や自然を感じて頂きました。園に戻ってから茶話会を行いました。

*音楽療法

音楽療法では口腔機能の維持を主に目的としたセッションを行いました。また認知面、身体機能面の刺激となるよう工夫しました。

• 集団音楽療法

周囲との関わりを持つ機会になるよう、コミュニケーションの場として集団音楽療法を行いました。

一体感やできることへの達成感、満足感が得られ、自信にも繋がりました。

時間：午前（10：30～11：30）・午後（14：00～15：00）

実施回数：54回 参加者：延べ681名

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数	159	100	179	88	155	681
実施回数	14	9	13	6	12	54

• 個別音楽療法

居室でマンツーマンで行う個別音楽療法は、入居者のニーズに沿った音楽療法プランを作成し、目標達成に向けて取り組みました。主に口腔機能の低下が見られる入居者を対象に、歯科衛生士と連携して毎回の音楽療法時に口腔ケアを行い口腔機能の向上に努めました。

時間：不定期

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	10	11	10	14	21	66

5.看 護

入居者の多くが複数疾患を持ち、高齢化と共に身体状況が重度化しています。日常の健康観察をこまめに行い、医療機関の協力を得て疾患の早期発見ができるよう健康管理に努めました。各職種と連携して状態を把握し、残存機能を最大限に活用できるよう援助しました。施設内感染症対策、食中毒の予防等、日常生活における環境衛生の保持に努めました。褥瘡ゼロの実現に向けたケアに努め、改善しました。高齢者の栄養状態、体力低下などの影響に対するアプローチ等に課題が残りましたが、引き続き褥瘡ゼロに向けてケアを継続していきます。

* 健康管理

健康で苦痛のない日々を送れるように一般状態のチェックを行い、医療機関への報告、受診を速やかに行いました。

- 健康診断 職員（パートを含む全員） 令和元年5月～6月 89名
夜勤職員 令和元年12月 29名

入居者 健康診断実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体重測定	76	77	79	76	77	75	79	80	81	81	81	79	941
身長測定	3	5	5	3	4	5	6	3	5	5	3	4	51
尿検査	2	63	3	3	5	38	6	3	4	5	3	4	139
検便	0	45	3	0	5	27	7	3	5	5	3	6	109
血液検査	3	5	5	3	65	5	6	3	5	5	3	4	112
胸部レントゲン	3	9	10	8	19	12	44	10	11	11	13	7	157

※ 血液検査（中性脂肪、HDL、LDL、AST、ALT、 γ -GT、空腹時血糖、A1c）

* インフルエンザ予防接種

令和1年10月21日～10月25日 全職員 84名
令和1年10月23日、25日、31日 入居者 78名

* 手浴・足浴

手浴・足浴（フットケア）をすることで、循環不全を予防し、四肢末端への血流改善につながるなど体調を整えるために実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	12	17	34	45	30	27	34	27	36	30	26	30	348

* 施設での医療

重度化、高齢化が進んでいます。入居者の状態観察を行い、異常があれば早めに医療機関の受診をしています。夜間の対応も含まれています。

内科的な疾患だけではなく、専門病院への受診が多くありました。

※ 施設内月別治療状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	702	619	664	688	424	425	511	464	471	470	432	442	6,312
内科	528	605	548	553	657	634	863	656	604	683	696	687	7,714
眼科	335	373	370	420	379	387	415	402	364	400	398	460	4,703
皮膚科	900	827	780	780	805	726	920	975	990	1027	857	929	10,516
歯科	3	11	6	5	5	6	7	3	3	1	3	9	62
医師来診	9	12	13	12	8	8	12	8	8	8	16	11	125
医師特診	3	3	5	6	2	3	2	2	4	2	12	3	47
経管栄養	173	186	180	180	186	180	201	201	209	189	186	186	2,257
留置カテーテル	4	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	54
救急手当て	36	56	74	93	82	43	36	53	58	87	55	58	731
定期与薬	2014	2164	2134	2031	2046	1934	2126	2125	2137	2163	2019	2175	25,068
その他薬	258	243	253	231	234	226	263	278	310	276	251	322	3,145
血圧測定	157	159	155	154	179	151	183	159	158	180	181	161	1,977
検尿	2	63	3	3	5	38	6	3	4	5	3	4	139

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検便	0	45	3	0	5	27	7	3	5	5	3	6	109
血液検査	3	5	5	3	65	5	6	3	5	5	3	4	112
レントゲン	3	9	10	8	19	12	44	10	11	11	13	7	157
リハビリ	14	15	12	12	12	9	9	12	12	12	12	12	143
終末処置	0	1	0	2	1	1	1	1	2	1	3	2	15
合計	5144	5400	5220	5186	5119	4820	5617	5363	5359	5529	5147	5482	63,386

※ 施設外受診状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
眼科	2	0	2	0	1	2	0	0	1	1	0	2	11
皮膚科	1	3	3	4	6	2	1	5	3	1	1	2	32
歯科	3	11	6	5	5	6	7	3	3	1	3	9	62
精神科	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	2	2	11
泌尿器科	3	2	5	3	2	4	4	4	5	3	3	3	41
内科	6	4	5	9	15	7	3	7	6	6	11	4	83
外科	3	2	6	13	10	3	1	2	1	1	5	1	48
整形外科	2	1	0	1	4	1	1	2	0	0	1	5	18
合計	21	24	27	36	44	25	18	24	20	13	26	28	306
延入院数	67	21	25	34	110	10	10	17	21	33	48	26	422

※ 施設内治療内訳

科目	治療内容
外科	ガーゼ交換（一般傷、褥瘡）湿布
内科	臨時与薬、酸素吸入、内科的治療注射、吸引、吸入、貼付薬
科目	治療内容
眼科	点眼、軟膏塗布
皮膚科	軟膏塗布
留置カテーテル	膀胱洗浄、経管栄養、バルーンカテーテル交換
救急手当	気道確保、応急処置
その他与薬	緩下剤、浣腸、臨時与薬

※ 入院の状況

月	入院理由	人数	入院延日数	月	入院理由	人数	入院延日数
4月	栄養状態管理	1	22	8月	低栄養・貧血	1	24
	誤嚥性肺炎	1	14		便秘	1	16
	精査目的	1	17		尿路感染症	1	6
	尿路感染	1	14	9月	肺炎	1	7
精査目的	1	16	低栄養・貧血		1	3	
5月	尿路感染症	1	5	10月	総胆管結石	1	10
	PEG交換・大腸検査	1	3	11月	膵炎	1	5
6月	胃がん	1	16		低カリウム血症	1	12
	イレウス	1	6	12月	脳梗塞	1	11
7月	胃がん	1	1		肺炎	2	10
	イレウス	1	4	1月	肺炎	2	24
	敗血症	1	1		インフルエンザ	1	9
	蜂窩織炎	1	25	2月	肺炎	4	32
	誤嚥性肺炎	1	2		消化管出血	1	9
	ドレーン再挿入	1	1		貧血	1	7
8月	蜂窩織炎	1	30	3月	肺炎	1	9
	ドレーン再挿入	1	6		腎盂腎炎	1	17
	肺炎	1	28	合計	40	422	

* 状態の把握と緊急時の対応

日々の心身状態の観察と状態把握の共有を図り、サインを見逃さないようにユニットに指導を行いました。

* 夜間オンコールマニュアルの作成を行い、介護スタッフから夜間の報告がスムーズにできるようにしました。適確な報告を受けて、看護師は応急的な手当てを伝えることができたと思います。

* 看取りケア

多職種協働で入居者が最期に何を望んでいるかを考える場を設けました。最期の時まで経口摂取が実現できるようケアをしました。

- ・入居者が自分の部屋でご家族・職員に見守られながら旅立ちができるように援助しました。
- ・入居者が痛みの訴えなく自然に穏やかな旅立ちができるように、関わりを継続しながら細やかな対応を心がけることで旅立ちの前の不安を取り除く一助としました。
- ・看取り期とされた入居者に対し、ユニット職員、専門職が連携して穏やかに旅立ちができるようケアの方法や方針を共有するカンファレンスを行いました。ご家族も参加され、揺れ動く思いやご希望などを職員と共有することで悔いの少ない看取りを行うことができました。

・ グリーフケア

旅立ちの後、ご遺族とともに故人を振り返る機会を持ちました。

ユニットの職員、専門職がご遺族とともにそれぞれの故人の思い出を語り、近親者を失う喪失感や心の痛みに寄り添いその軽減に努めました。

ご遺族だけではなく、スタッフもケアを振り返ることができ、互いに気持ちが穏やかになりました。看取り期から退居の日まで、細やかなカンファレンスや情報共有を行うことで、最期の日までご家族と協力してケアをすることができ、故人が旅立った後の心の負担の軽減ができたように思います。

《看取りのカンファレンス》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象者	3	7	5	4	2	1	3	1	2	1	2	1	32
回数	5	12	5	4	2	1	3	1	4	1	4	1	43
出席者	35	57	16	13	5	3	14	3	18	9	18	3	194

《グリーフケア～振り返りのカンファレンス》

	出席者	回数	参加者数(述)
7月	家族・ユニットリーダー・ケアマネ・看護師長	3	15
9月	家族・ユニットリーダー・看護師長・ケアマネ・作業療法士	2	14
10月	家族・ユニットリーダー・相談員・看護師・局長	1	8
12月	家族・ユニットリーダー・看護師・局長	2	11
1月	家族・ユニットリーダー・看護師長・局長	1	5
3月	家族・ユニットリーダー・相談員・ケアマネ・看護師長・施設長	1	6
	合 計	10	59

* 口腔ケア

「口から全身の健康を守ります」

- ・口から全身の健康管理につながるような口腔ケアの提供を行いました。
- ・口の中の清潔を保ち、感染予防を行いました。
- ・口からいつまでもおいしく食べるための機能の維持と向上をはかりました。

歯科衛生士による入居者アセスメント件数

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	21	53	22	27	58	61	66	71	38	48	465

6.食事・栄養管理

お一人お一人の栄養状態や食事摂取状況に応じた個々の栄養ケア計画に基づき、入居者の健康の保持増進に努め、低栄養の改善、予防、安全・安心で衛生的な食事の提供ができるよう努めました。

* 給食状況 (R2.3.31)

主食状況	人数
ご飯	39
粥	24
ムース粥	10
パン食	2
経管栄養	6

副食状況	人数
常食	47
ソフト食	12
ゼリー食	16

療養食	人数
糖尿食	3
肝臓病食	1
減塩食	3
心臓高血圧食	5
腎臓病食	1

◎食事と経管併用の方1名

2019年11月19日より調理を外部委託（ナリコマフーズ）に変更しました。伴い副食の食事形態を「普通食、キザミ食、ソフト食、ムース食」から、「常食、ソフト食、ゼリー食」に変更となりました。

* 行事食等実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
行事食	1	1	1	2	1	1	1	1	3	2	1	1	16
希望食	3	3	5	6	6	2	5	5	0	0	0	0	35
複式献立	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	16

- ・ユニットに関係なく入居者が集まって笑顔で楽しく過ごせるよう食事からの支援を行いました。6月にはデザートパーティ、12月には鍋パーティを行いました。1つの鍋を入居者だけでなく、職員も一緒に囲むことでいつもと違う雰囲気の中で食事を楽しまれました。9月の敬老お祝い会では、交流ホールで入居者同士の交流の機会を持つ事ができました。ご家族の参加もあり、多くの笑顔が見られました。
- ・希望食は、入居者に聞き取りを行い、誕生日に希望にそった献立を提供しました。特に好まれていたのは、ばら寿司と甘い物(ゼリーやようかん等)です。
- ・複式献立を毎月2回実施し、入居者にお好みをお聞きして選ぶ楽しみを感じてもらいました。

* 1人1日当たり給与栄養量

	エネルギー	タンパク質		エネルギー	タンパク質
4月	1444	53.2	10月	1434	50.4
5月	1438	52.1	11月	1445	49.7
6月	1440	50.5	12月	1436	55.9
7月	1445	50.5	1月	1431	56.1
8月	1442	49.9	2月	1437	56.2
9月	1435	50.4	3月	1426	54.5
基準値	1456	42.4	基準値	1458	42.5

※ 基準値は入居者の状態に併せて半期ごとに算出します。

* 残菜調査

献立作成時のメニューの組み合わせや調理方法等に活用していくために2ユニット毎、1週間の残菜調査を行いました。朝食・昼食・夕食時に毎回主食と副食の残量をそれぞれ計量しました。主食は全体的に残量が少なく、副食は残菜が多く見られる日もありました。

実施日：11月1日～28日

ユニット9・10から順次1週間ごとユニット3・4まで調査実施

* 栄養ケアマネジメント

入居者の低栄養状態のリスクを判定し、栄養状態の改善・褥瘡の予防に努めています。低栄養状態のリスク判断材料として、体重（BMI）、血液検査(アルブミン)、食事摂取量、褥瘡の有無、栄養補給法などの項目があります。

《栄養ケア会議》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
プラン数	31	25	22	30	22	23	31	27	24	30	28	21	314

・ 個別栄養ケア

個別の課題、ご家族や入居者本人の希望に沿う食事を提供できるよう、多職種で協議・協働しました。

- 1) 食事を主食：ムース粥、副食：ムースで提供していましたが食事摂取量が落ち、体重が大幅に減少していたため、多職種でカンファレンスを行いました。ご家族に好きな食べ物を持ってきてもらい、本人の希望に沿い主食を粥に変更、その後本人とも相談しながら食事形態や量を変更していきました。食事摂取量が増え、現在は主食：ご飯、副食：常食を毎食完食されており、体重も順調に増加しています。
- 2) 噛む力が弱く、飲み込みも悪いため主食：ムース粥、副食：ムースで提供をしていましたが、食事をほとんど食べられませんでした。そのため多職種でカンファレンスを行い、好んで食べられるパンに主食を変更、ジャムもお好きな味を選んでいただきました。その後は主食量を増やしたり、ご家族から甘いものが好きと伺い甘い間食を積極的にお出ししました。食事摂取量が少しずつ増え、体重も少しずつ増えています。

・ 食形態別低栄養状態リスク判別 (R2.3.31)

	常食	ソフト食	ゼリー食	経管栄養	合計
低リスク	20	5	3	0	28
中リスク	23	5	12	3	43
高リスク	4	2	1	2	9

・ 高リスク判定内訳 (R2.3.31)

体重減少	4
血清アルブミン	5
褥瘡	0

・ 栄養補助食品使用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
亜鉛強化ジュース	2	4	4	4	5	5	6	6	6	6	6	6	60
高カロリーゼリー	3	3	3	4	3	3	2	3	3	2	2	2	33
高カロリーゼリー(ジュレ)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

栄養ケアマネジメントの一環として栄養補助食品の導入を行っています。食事量の低下や褥瘡による必要栄養量の増加に対応します。栄養補助食品の種類はジュースタイプとゼリータイプがあります。

・ 栄養補助食品使用の目的 (R2.3.31)

補助食品のタイプ	カロリー保持	体重低下
亜鉛強化ジュース	5	1
高カロリーゼリー	1	1
高カロリーゼリー(ジュレ)	1	

《短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護》

【運営方針】

全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。

在宅生活の継続に向け、その人に合わせた自立の支援を行います。

- * 個々のご利用者がそれぞれの「暮らし」が継続できる「ユニットケア」を行います。
- * 個別ケアを重視し、残存能力の活用及び維持に向け積極的にアプローチを行います。
- * ご利用者個々の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
- * 他機関と連携し介護負担の軽減に向けて積極的な受け入れに努めます。

○ ショート職員配置 (R2.3.31)

職 名	人 数
管理者	1 (特養兼務)
生活相談員	1 (特養兼務)
介護士	5.1
介護福祉士	(3.2)
介護支援専門員	1 (特養兼務)
調理員	特養兼務



※人数は常勤換算により計算
() は再掲

○ ショートステイサービス利用状況

	入所実人数 (上段) / 延べ日数 (下段)							合 計
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	
平成31年	2	1	7	6	10	3	1	30
4月	7	1	64	48	108	33	5	266
令和元年		1	7	10	9	3		30
5月		2	61	69	91	28		251
6月		1	5	7	9	1	1	24
		4	53	54	97	19	2	229
7月		2	3	10	11	1	1	28
		9	39	59	104	9	2	222
8月			6	8	12	1		27
			54	67	133	12		266
9月	1	1	6	8	12	2		30
	2	6	52	54	106	27		247
10月	1		7	7	11	3	1	30
	3		69	47	104	24	5	252
11月			5	8	12	3		28
			28	55	118	32		233
12月			8	7	12	3		30
			40	62	156	45		303
令和2年			6	6	12	3		27
1月			26	55	139	27		247
2月			2	7	7	6		22
			28	49	119	51		247
3月			3	8	9	3		23
			31	53	104	10		198
合 計	4	6	61	90	124	40	4	329
	12	22	545	672	1379	317	14	2961

月別延べ利用者数



○ ユニットケアのショートステイ

ショートステイユニットでは、家庭での生活が継続できるように、お一人おひとりの状態の把握に努めて個別のケアを行いました。本人はもちろん、家族の思いにも応えられるように、ユニットスタッフが連携してきめ細やかなケアを提供しました。

すべてのご利用者が、心地よい空間で安心して過ごされるように、お部屋の清掃は徹底して行いました。また温かい声掛けと関わりを心がけました。

生きがいややりがいを感じ、来園時より心も体も元気になって帰っていただけるようなサポートに努めました。

* ショートステイ利用の充足

- 新規利用者数 25 件
- 居宅サービス担当者会議出席 40 件
- 初回面接等訪問、相談件数 20 件
- 新規利用前ミニカンファレンス 17 件
- ユニット型ショートステイの利用拡大に向け、市民及び居宅介護支援事業所等へ利用の案内等を作成して訪問するなど、周知に努めました。
- 緊急時のショートステイ利用の相談体制を整えました。
- サービス担当者会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出席数	1	4	5	4	4	2	4	5	1	3	3	4	40

* ショートステイ利用中の介護

家庭での生活が継続できるように、利用前からの状態の把握と利用中の状態を観察して、適切なケアの実施に努めました。ご家族との連携を大切に、退所時に日々の暮らしの記録をお渡しする事と細かい伝達や相談、ケアの提案を行い、家族と共にご利用者を支えられるように努めました。家庭を離れて生活をされる中で、暮らしに楽しみを持ち、やりがいを感じていただけるように、アクティビティを充実させました。

安全の確保の為に、危険を予測してケアを工夫しました。事故が起こった場合は、原因を追究して適切なケアを検討し、事故の再発防止に努めました。ご利用中にアンケートを実施して、ご要望をうかがい、ご満足を追求してサービスの質を高めています。

* ショートステイ利用中の看護

ショートステイ利用中も在宅での療養等が途切れないよう、ご家族、主治医、ケアマネジャー等と連携してご利用者の健康の保持に努めました。

また、予防接種の推奨、水分補給の重要性等をご家族と共有し、在宅・ショートステイの切れ間ない支援に努めました。



科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	55	12	4	3	0	0	0	5	39	12	51	11	192
内科	31	21	2	20	49	7	10	15	15	9	9	9	197
眼科	13	30	22	12	25	27	20	27	42	29	28	5	280
皮膚科	28	21	23	23	36	49	29	20	20	18	0	14	281
経管栄養	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	10
定期与薬	284	265	253	251	302	276	265	263	335	267	248	201	3,210
その他薬	3	0	10	0	8	7	3	5	18	0	14	2	70
合計	414	349	314	309	420	366	332	340	469	335	350	242	4,240

《地域密着型通所介護・介護予防通所介護》

【運営方針】

在宅生活が安全に安心して継続していただけるようバーセルインデックスを実施し利用者の現状把握を行いました。また、利用者とのコミュニケーションを大切にしコミュニケーションの中から生活の課題や要望を把握し、必要な情報の提供や対応を行いました。日々のアクティビティでは、筋力アップを目的に椅子に座っての足踏み体操や体幹体操などを行い機能維持に努めました。当施設のショートステイをご利用されているデイ利用者についての情報を共有し、より安全快適にすごしていただく環境整備に努めました。

○ 職員配置（令和2年3月31日現在）

職名	人数
管理者	1（特養兼務）
生活相談員	1
介護士	1.3
介護福祉士	(1.3)
看護師兼機能訓練指導員	0.25（特養兼務）
運転手	0.5



※人数は常勤換算により計算
()は再掲

○ 定員及びサービス提供日時

- ①定員： 地域密着型通所介護＋介護予防通所介護 15名／日
ふれあい交流通所サービス 10名／日
- ②営業日： 月曜日～金曜日(12/30～1/3は除く) 257日／年
- ③サービス提供時間：9:30～15:30

○ 提供サービス内容

- ①送迎 ②健康チェック ③入浴 ④食事 ⑤個々に必要な身体介護⑥機能訓練 ⑦アクティビティ ⑧生活相談

○ 利用者状況（令和2年3月31日現在）

①年齢と性別 (人)

性別	年齢	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合計
男性		0	2	1	1	1	1	6
女性		1	0	1	3	6	2	13
合計		1	2	2	4	7	3	19

平均年齢 88.78 歳

②介護度区分 (人)

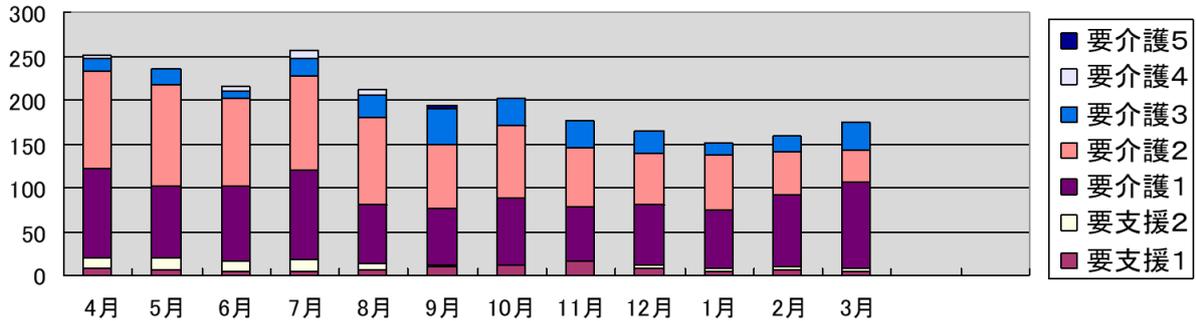
介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	1	1	11	3	3	0	0	19

○ 月別利用状況（延べ利用者数）

* 地域密着型通所介護・介護予防通所介護利用者延べ人数 (人)

区分 月	要支援		要介護					利用者数 合計	1日平均 利用者数	
	1	2	1	2	3	4	5			
4月	8	12	10	1	13	14	3	0	251	11.4
5月	5	14	8	3	16	18	0	0	236	10.3
6月	4	12	8	6	10	8	5	0	215	10.8
7月	4	13	10	2	12	20	9	0	256	11.2
8月	5	8	6	8	9	26	5	0	211	9.6
9月	9	2	6	6	7	41	0	4	195	9.3
10月	11	0	7	7	8	32	0	0	202	8.9
11月	15	0	6	3	6	30	0	0	176	8.4

区分 月	要支援		要介護					利用者数 合計	1日平均 利用者数
	1	2	1	2	3	4	5		
12月	7	4	69	60	25	0	0	165	8.3
1月	4	4	66	63	14	0	0	151	7.6
2月	5	4	84	49	16	0	0	158	7.9
3月	4	3	99	37	32	0	0	175	7.6
合計	82	78	965	970	279	26	9	2391	9.3



* ふれあい交流通所サービス利用者延べ人数 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援1	4	5	4	4	5	9	11	12	7	4	4	4	73
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	3	15
合計	4	5	4	4	5	9	11	12	11	8	8	7	88

○ 元気いきいき通所サービス（短期集中型）

地域での社会参加や個々の目標達成に向けた取り組みを行いました。ADL、IADLを向上させ、3か月後の社会参加につなげることを目指した個別支援プログラムを実施し、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう支援を行いました。また、サービス終了後も一定期間居住地等を訪問し、在宅生活の様子や新たな課題がないか等、聞き取りを行い地域包括支援センター等と情報を共有し、連携に努めました。

* 元気いきいき通所サービス利用者延べ人数 (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援1	1	10	23	22	10	2	0	4	0	0	0	0	72
要支援2	8	11	33	38	26	1	0	0	0	0	0	0	117
合計	9	21	56	60	36	3	0	4	0	0	0	0	189

月別延べ人数

修了後フォローアップ訪問件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援1	0	0	0	0	2	4	4	2	0	0	0	0	12
要支援2	0	0	0	0	3	8	8	6	0	0	0	0	25
合計	0	0	0	0	5	12	12	8	0	0	0	0	37

月別延べ件数



《居宅介護支援事業》

【事業目的】

高寿園居宅介護支援センターは、利用者がその有する能力に応じ、自立した在宅生活が送れるように保健医療サービス及び福祉サービス、施設等の多様なサービスを総合的かつ効果的に提供できるよう関係機関と連絡調整を行い、適切な居宅介護支援を提供することを目的として事業を行いました。

○ 職員配置

管理者（兼務）	介護支援専門員	合計
1名	1名	2名

○ 業務内容

- ① 要介護認定の申請手続き
- ② 要介護認定のための訪問調査(市委託業務)
- ③ 居宅介護サービス計画(ケアプラン)の作成
- ④ サービス担当者会議の開催
- ⑤ 介護保険給付管理事務
- ⑥ 在宅介護に関する相談業務
- ⑦ 地域包括支援センターとの連携

○ 活動状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査		0	1	2	0									3
相談	訪問	58	65	57	46									226
	来所	4	3	1	2				休	止				10
	電話	13	10	6	9									38
手続代行		1	0	4	0									5

○ ケアプラン作成件数

(人)

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護1		9	7	8	5									29
要介護2		13	13	11	6									43
要介護3		10	10	9	6				休	止				35
要介護4		1	1	1	1									4
要介護5		0	0	0	0									0
合計		33	31	29	18									111

〈別紙1〉 令和元年度 行事・ボランティア等一覧

行事名	開催日	参加者					ボランティア			費用	
		入居者	ショート	デイ	職員	一般	人数	氏名・団体名	内容		
お花見会	H31.4.5	金	77	7	15	37				31,514	
端午の節句	R1.5.8	水	76	7	9	29	9	ふーちゃんとびーちゃん 歌と踊りのひととき	歌と踊り	10,759	
デザートパーティ	R1.6.10	月	66	8	12	23				20,328	
ガーデンランチ	R1.6.29	土	7			5					
七夕祭り	R1.7.3	水	72	11	11	35					17,216
	~7.17	水									
絵手紙教室	R1.6.19	水	12	5	3	6	1	個人	行事手伝い		
ガーデンランチ	R1.7.18	木	6			5					
夏祭り	R.8.9	金	74	11	12	27	6	中道中学校生	行事手伝い	72,720	
生花教室	R1.9.14	土	18	8		3	3	生花講師	生花指導	37,680	
敬老お祝い会	R.9.16	月	73	15	9	44	7	リトルウインド	吹奏楽演奏	31,470	
							3	ヘアクリエイト	メイク・ネイル等		
							1	個人	メイク・ネイル等		
ガーデンランチ	R1.9.19	木	7			5					
寿司ボランティア	R.10.10	木	42	8	7	28	10	5	個人	握り寿司	68,996
おみこしワッショイ	R.10.18	金	80	9	13	22					
高倉神社 秋祭り	R.10.20	日	73	10		15	50	高倉神社氏子	祝詞・神輿・獅子練	23,436	
ガーデンランチ	R.10.30	水	7			5					
交流広場	R1.11.2	土	79	7		47	4	美作大学	アトラクション	129,256	
							6	高校生・個人	屋台手伝い		
							1	個人	アメ細工		
忘年会	R1.12.12	木	80	13	9	51				2,560	
	R1.12.13	金									
クリスマス交流会	R.12.24	火	20	5	5	20	80	4	民生委員	行事手伝い	34,432
餅つき大会	R1.12.27	金	18	12	10	18				1,850	
生花教室	R1.12.28	土	16	5		5	3	生花講師	生花指導	41,086	
新年会	R2.1.1	水	13	11		20				3,300	
新年福引大会	R2.1.1	水	13	11		20					
新春書初め会	R2.1.2	木	15	2		10					
高倉神社初詣	R2.1.2	木	4			3					
とんど	R2.1.15	水	40	7	7	10				2,252	
新春カラオケ大会	R2.1.10	金	45	10	8	16				2,264	
節分祭	R2.2.3	月	50	7	8	24				1,400	
高寿園ひな祭り (展示)	R2.3.1	日	70	23	5	25	6	個人	飾り付け 片づけ	15,454	
	~4.3						3	個人	飾り付け 片づけ		
参加者・ボランティア合計			1153	212	143	558	90	112	費用合計	547,973	

○ ボランティア行事

内容	開催日		参加者					ボランティア	
			入居者	ショート	デイ	職員	その他	人数	氏名・団体名
昔話・歌・体操等	H31.4.18	木	46	9	11	10		3	語りの会いろりばた
	R1.5.16	木	54	5	11	12		4	
	R1.6.20	木	44	7	9	7	3	4	
	R1.7.19	木	51	6	11	10	2	4	
	R1.8.8	木	38	9	7	11	6	3	
	R1.9.19	木	46	8	9	8		4	
	R1.10.10	木	32	8	7	7		5	
	R1.11.21	木	33	9	7	7		4	
	R1.12.19	木	45	4	5	10		5	
R2.2.13	木	37	9	6	10	1	4		
アロマセラピー	H31.4.16	火	4					3	カモン会
	R1.5.21	火	9					3	
	R1.6.18	火	7					2	
	R1.7.16	火	6					2	
	R1.8.20	火	7					2	
	R1.9.17	火	11					2	
	R1.10.15	火	6					1	
	R1.12.17	火	7					2	
	R2.1.21	火	10					2	
R2.2.18	火	7					2		
歌・演奏等	H31.4.9	火			11	2		3	金巻バンド
	H31.4.26	金			12	3		3	
	R1.5.14	火	1		11	3		3	
	R1.5.24	金			11	2	1	3	
	R1.6.11	火			11	1		3	
	R1.6.28	金			12	1	1	3	
	R1.7.9	火			10	3		3	
	R1.7.26	金			12	1	1	3	
	R1.8.13	火			7	3		3	
	R1.8.23	金	7		11	5	2	3	
	R1.9.10	火			7	2		3	
	R1.10.25	金			6	2		3	
	R1.11.12	火			7	2		3	
	R1.11.22	金			6	2		3	
	R2.1.14	火		3	7	2		2	
	R2.1.24	金		3	7	2		3	
	R2.2.11	火		3	7	2		2	
	R2.2.28	金			10	2	2	3	
H31.4.24	水	10					1	山本泰弘	
H31.4.12	金	55	9	10	12		1	松尾貴臣	
R1.8.28	水	47	8	11	22		1		
お花のプレゼント	R1.6.4	月	4	4		5		6	高倉ひかり保育園
	R1.12.16	月	4	2		3		13	高倉小学校
ひまわりのプレゼント	R2.8.20	火	3	4		2		6	杉の森子ども会

内容	開催日		参加者					ボランティア	
			入居者	ショート	デイ	職員	その他	人数	氏名・団体名
書道	H31.4.14	日	17	2		6		1	個人（地域住民）
	R1.5.19	日	21	5		9		1	
	R1.6.30	日	14	4		8		1	
	R1.7.21	日	16	6		8		1	
	R1.8.7	水	13	3	3	7	2	1	
	R1.9.18	水	7	4		4		1	
	R1.10.16	水	14	4	4	7		1	
日本舞踊	R1.12.13	金	55	5	7	12	2	5	華凜の会
								6	めぐみ会
寿司ボランティア	R1.10.10	木	42	8	8	28	12	5	なかもとや
参加者・ボランティア合計			788	143	283	237	23	164	

○ 行事以外のボランティア

内 容	月 日	人数	団体名
縫物	R1.11.27 水	1	個人
草取り・庭の手入れ	R1.5.21 月	20	北部地区民生児童委員協議会
草刈り	R1.6.30 日	25	パカニックAVCネットワーク労組

○行事食

行 事 名	月 日	行事献立
お花見会	H31.4.5	<お花見弁当> 筍ご飯・混ぜ寿司・鯖の西京焼き風・ミートローフ・卵豆腐・春キャベツの酢の物・菜の花の胡麻和え・炊き合わせ・桜ようかん
端午の節句	R1.5.8	甘酒プリン
デザートパーティ	R1.6.10	フリーカットケーキ・アジサイ風ゼリー・ようかん（桜・抹茶）
七夕まつり	R1.7.3	そうめん
夏祭り	R1.8.9	ベビーカステラ・ミニお好み焼き・かき氷・冷やしパイン飲み物（ジュース・お茶・冷やし飴）
敬老お祝い会	R1.9.16	<お祝い弁当> 赤魚の西京焼き・高野豆腐の炊き合わせ・白菜の磯香和え・卵焼き・漬物 <デザート> フリーカットケーキ・ゼリー
秋祭り	R1.10.20	<お祭りメニュー> 松茸風炊き込みご飯・天ぷら盛り合わせ・きんぴらごぼう・すまし汁
交流広場	R1.11.2	焼きそば・たこ焼き・うどん・カレーライス・フライドポテト・ミニたい焼き・ジュース
忘年会	R1.12.12-13	鍋（塩ちゃんこ・寄せ鍋）
餅つき	R1.12.27	あんこ餅・きな粉餅
新年会	R2.1.1	<おせち> 有頭海老の旨煮・合鴨スモーク・ほたて旨煮・数の子・高野豆腐の煮物・伊達巻・絵馬蒲鉾・花三色・お煮め・黒豆・栗きんとん
お雑煮の会		お雑煮
節分	R2.2.3	豆まきにちなんだお菓子（卵ボウロ）
ひな祭り	R2.3.5-19 (5回)	<ひなカフェ> プリン・甘酒・ひなあられ・フルーツヨーグルト

○希望の食事

実施した希望の食事	
4月	ばら寿司 ようかん プリン
5月	ラーメン プリン ようかん
6月	ゼリー 親子丼 ようかん ばら寿司
7月	ゼリー ばら寿司 肉料理（すき焼き風） 赤飯
8月	肉料理（焼き肉風・すき焼き風） ようかん ゼリー ぶどう ばら寿司 赤飯
9月	ばら寿司 栗赤飯 鶏のから揚げ
10月	ようかん ゼリー 炊き込みご飯 きつねうどん
11月	ようかん 親子丼 プリン
12月	食事が委託会社に変更となり、希望食の実施を行っていません。
1月	
2月	
3月	

<別紙2> 令和元年度 役員会等の開催状況

・ 理事会の状況

開催年月日	理事	監事	決議事項
R1 .6.5	5名	2名	平成30年度事業報告・歳入歳出決算・監査報告 理事・監事候補者の選任 定時評議員会の招集、職務執行状況の報告
R1 .6.19	5名	2名	理事長の選任
R1 .8.26	6名	2名	役員等報酬規程の一部改正、就業規則の一部改正 定時評議員会の招集、職務執行状況の報告
R1 .11.12	5名	2名	理事候補者の選任 役員等報酬規程の一部改正
開催年月日	理事	監事	決議事項
R1 .11.12	5名	2名	理事長の選任
R1 .12.25	6名	2名	令和元年度第1次資金収支補正予算 定時評議員会の招集、職務執行状況の報告
R2 .3.10	6名	2名	令和元年度第2次資金収支補正予算 令和2年度事業計画、資金収支予算 定時評議員会の招集、職務執行状況の報告

・ 評議員会の状況

開催年月日	評議員	監事	決議事項
R1 .6.19	7名	2名	平成30年度事業報告・歳入歳出決算・監査報告 理事・監事の選任、職務執行状況の報告
R1 .9.11	5名	2名	役員等報酬規程の一部改正、就業規則の一部改正 職務執行状況の報告
R1 .11.12	6名	2名	理事の選任、役員等報酬規程の一部改正
R2 .1.9	6名	2名	令和元年度第1次資金収支補正予算 職務執行状況の報告
R2.3 書面決議	7名		令和元年度第2次資金収支補正予算 令和2年度事業計画、資金収支予算 職務執行状況の報告

- ・ 監事会の状況
開催日：令和1年5月24日 出席監事：2名
平成30年度業務執行の状況及び財産の状況の監査
- ・ 税理士監査の状況
開催日：令和1年5月20日 税理士：1名
平成30年度事業運営の状況、規程等の順守、経理執行・財産の状況の監査
- ・ 社会福祉法人指導監査の状況
開催日 令和1年11月28日 津山市生活福祉課
結果 文書指導 3件 口頭指導 6件
- ・ 高寿園デイサービスセンター実地指導の状況
開催日 令和1年11月18日 津山市高齢介護課
結果 指導事項 1件

〈別紙3〉 令和元年度 研修等一覧表

研修会名	日程	主催	場所	講師等	人数
介護予防講座・棒体操	6.21	上横野こけない体操	上横野会館	作業療法士	1
認知症サポーター養成講座	6.23	津山市地域包括支援センター	高寿園	事務員	1
岡山県福祉・介護職員合同入職式・先輩職員	7.5	岡山県	鶴山ホテル	ユニットリーダー、相談員	3
介護福祉士実習指導講習会	8.29	岡山県介護福祉士会	岡山県立大学	介護士長	1
社会福祉士実習指導者講習会	10.5	岡山県社会福祉士会	きらめきプラザ	施設長	1
出前講座・特養入居編	10.17	鉄砲町福祉推進部	鉄砲町会館	相談員、事務局長	2
出前講座・特養入居編	11.20	田熊げんきクラブ	田熊ふれあいセンター	相談員、事務局長	2
『先輩にインタビュー』アドバイザー派遣	11.29	徳島県の高校	徳島県の高校	音楽療法士	1

※ 事例発表等

研修会名	日程	主催	場所	発表者	人数
津山施設ケア研究発表会	7.6	津山施設ケア研究会	津山市総合福祉会館	事務員	2
中国地区老人福祉施設研修大会	8.29-30	中国地区老施協	山口市市民会館	事務員	2
岡山県地域包括ケアシステム学会学術大会	9.29	岡山県地域包括ケアシステム学会	三木記念ホール他	事務局長	1
医療・介護の連携を考える研修会	R2.1.16	市介護保険事業者連絡協議会	津山市役所	施設長	1

※ 研修会等スタッフ協力

研修会名	日程	主催	場所	協力者	人数
福祉紹介キャンペーン	7.13	岡山県経営協	作東バレンタインホテル	相談員	1
認知症ケア研修会	7.25	市介護保険事業者連絡協議会	津山市総合福祉会館	施設長	1
アセスメント研修	8.22	岡山県老施協	ピュアリティまきび	施設長	1
岡山県地域包括ケアシステム学会学術大会	9.29	岡山県地域包括ケアシステム学会	三木記念ホール他	事務員、施設長	2
認知症ケア研修会	11.12	市介護保険事業者連絡協議会	津山市総合福祉会館	相談員	1
県老人福祉施設職員研究発表会	R2.2.21	岡山県老施協	コンベンションセンター	施設長	1

※ 表彰等

研修会名	日程	主催	場所	表彰者
全老施協 表彰	8.29	全国老施協	山口市市民会館	介護士長
津山市社会福祉協議会会長表彰	10.29	津山市社会福祉協議会	津山市総合福祉会館	介護士
優良防火管理者	10.30	津山圏域消防組合	津山圏域消防組合消防本部	防火管理者
岡山県男女共同参画社会づくり表彰	11.20	岡山県	岡山県庁	法人
長期勤続優良職員顕彰(県知事感謝)	R2.3.2	岡山県		介護士

※ 外部研修・会議等

研 修 会 名	日 程	主 催	場 所	参 加 者	人数
元気いきいき通所サービス指定プログラム講習会	4.16	津山市	津山市役所	介護福祉士・看護師	2
洋寿荘見学	4.18	高寿園	洋寿荘	介護士長、ケアマネ、OT、施設長他	6
安心・安全・安楽に過ごしてもらう	4.26	津山市社協	津山市総合福祉会館	事務員	1
リフレケア改善セミナー	5.11	リブドゥ	テクノサポート岡山	介護士主任、ケアマネ	2
介護実習担当者会議	5.15	美作高校	美作高校	介護士長	1
2019夏のボランティア体験連絡会	5.17/10.17	津山市社協	津山市総合福祉会館	相談員	1
運転サポーター事業説明会	5.22	津山市	津山市役所	在宅部長	1
岡山県経営協総会	5.23	岡山県経営協	岡山ロイヤルホテル	施設長	1
津山市介護保険事業者連絡協議会情報連絡会	5.24	市介護保険事業者連絡協議会	津山市役所	相談員、デイ管理者、ケアマネ	3
リスクマネジメント研修	6.6	岡山県社協	きらめきプラザ	介護士	2
北部認知症キャラバンメイトチーム会議	6.7	津山市社協	一宮公民館	事務員	1
福祉のお仕事紹介キャンペーンスタッフ会議	6.12	岡山県経営協	きらめきプラザ	相談員	1
第1回居宅CM・地域包括C情報交換会	6.13	市地域包括支援センター	市総合福祉会館	介護支援専門員	1
安全運転管理者講習	6.17	県公安委員会	勝央文化ホール	在宅部長	1
不在者投票事務説明会	6.20	県選挙管理委員会	美作県民局	事務員	1
ユニットリーダー研修：前期①	6.24-26	ユニットケア推進センター	コンベンションセンター	ユニットリーダー	2
会計職員実務研修	6.25	岡山県社協	きらめきプラザ	事務員	2
認知症介護基礎研修	6.26	岡山県社協	きらめきプラザ	介護士	4
脳活性化エクササイズスクリーション講座	6.27	津山まちなかカレッジ	アルネ地域交流センター	相談員	1
県老施協21世紀委員会セミナー	6.27	県老施協	きらめきプラザ	事務員、相談員	3
岡山県福祉・介護職員合同入職式	7.5	岡山県	鶴山ホテル	介護士	1
津山施設ケア研究会	7.6	津山施設ケア研究会	津山市総合福祉会館	ユニットリーダー他	20
日本福祉学会中国四国地域ブロック	7.13	日本福祉学会	高知県立大学	施設長	1
災害時BCP策定研修(入所施設)	7.16	県社協	きらめきプラザ	相談員	1
高知県ノーリフティングケア視察	7.18	県老施協	ナチュラルハートフルケアネットワーク他	施設長	1
ユニットリーダー研修：実習①	7.16-8.2(4日)	ユニットケア推進センター	よなご幸朋苑/ゆうらく	ユニットリーダー	2
特定処遇改善加算説明会	7.22	県老施協	きらめきプラザ	事務員、施設長	2
災害時BCP策定研修(通所施設)	7.24	県社協	きらめきプラザ	事務員	1
介護支援専門員 更新研修(専門Ⅱ)	7.24-8.26(5日)	岡山県	コンベックス岡山	介護支援専門員	1
認知症ケア研修会	7.25	津山市介護保険事業者連絡協議会	市総合福祉会館	介護士、看護師、相談員	12
介護保険施設看護管理者研修フォローアップ	7.26	県看護協会	県看護会館	看護師長	1
中国地区老人福祉施設長研修会	8.1-2	中国地区老施協	ホテルモナーク鳥取	施設長	1
市民後見人・福祉施設相談員情報交換会	8.19	津山市社協	市総合福祉会館	相談員	1
認定介護福祉士養成研修事前打合せ	8.2	岡山県介護福祉士会	きらめきプラザ	施設長	1
ユニットリーダー研修：前期②	8.21-23	ユニットケア推進センター	京都テルサ	ユニットリーダー	2
アセスメントの基本研修	8.22	県老施協	ピュアリティまきび	ユニットリーダー、相談員	3
津山市見守り協定事業所連絡会	8.22	津山市	津山市役所	在宅部長	1
データから地域住民の健康状況を知る	8.28	岡山県看護協会	岡山県看護会館	看護師長	1
中国地区老人福祉施設研修大会	8.29-30	中国地区老施協	山口市市民会館	事務員	2
相談援助職のための事例検討研修会	8.31	事例検討研究会	津山東公民館	相談員	2
リフトリーダー研修	9.3-4	日本テクノエイド	高寿園	介護士、ケアマネ、OT他	15
最新介護機器事情	9.7	美作大学	美作大学	作業療法士	1
リフレサポート講座①②③	9.9/10.11/11.13	リブドゥコーポレーション	テクノサポート岡山	介護士	2
ケースメソッドによる高齢者虐待防止研修	9.9-10	県老施協	きらめきプラザ	介護士長、ケアマネ	2
ユニットリーダー研修：実習②	9.10-20(4日)	ユニットケア推進センター	天神の杜/花友にしこうじ	ユニットリーダー	2
全国社会福祉法人経営者大会	9.12-13	全国経営協	とりぎん文化会館	施設長	1
介護老人福祉施設交流会	9.18	特養・いやさか苑	特養・いやさか苑	看護師長、ユニットリーダー他	4
クレーム対応研修	9.2	県社協	きらめきプラザ	相談員	1
給食施設管理者研修会	9.3	美作保健所	リージョンセンター	管理栄養士	1
元気いきいき通所事業意見交換会	10.1	津山市	津山市役所	相談員	1

研 修 会 名	日 程	主 催	場 所	参 加 者	人数
けんこう長寿教室	10.3	岡山県医師会	リージョンセンター	介護士、調理員	2
公正採用選考人啓発推進員研修会	10.4	岡山労働局	市総合福祉会館	事務員	1
介護・福祉施設介護の魅力研修会	10.5	県看護協会	津山中央病院	看護師	1
岡山県総合社会福祉大会	10.1	県社協	岡山市民会館	事務員	1
給食施設従事者研修会	10.11	美作保健所	リージョンセンター	調理委員	1
認知症介護実践者研修	10.16-12/16(6日)	県社協	きらめきプラザ	介護士	1
ユニットリーダー研修：後期	10.16-18	ユニットケア推進センター	TKPガーデンシティ岡山	ユニットリーダー	1
全国老人福祉施設研究会議	10.29-30	全国老施協	松山市民会館他	施設長	1
ユニットリーダー研修：後期実習	11.5-8	ユニットケア推進センター	ゆうらく	ユニットリーダー	1
高齢者虐待防止研修	11.6	岡山県	サ・シロヤマテラス津山別館	事務員	1
中国Bカントリーミーティング	11.7-8	中国地区老施協	TKPガーデンシティ広島駅前大橋	相談員、事務員	2
高齢者消費者被害防止研修会	11.12	津山市地域包括支援センター	市総合福祉会館	相談員	1
成年後見セミナー	11.16	市社協	市総合福祉会館	相談員	1
年金委員・健康保険委員研修会	11.2	年金委員会	リージョンセンター	事務員	1
全国老人福祉施設大会	11.20-21	全国老施協	水戸市東町運動公園新体育館他	施設長	1
中・四B社会福祉法人経営者セミナー	11.21-22	中四国地区経営協	JRホテルクレメント高松	在宅部長、事務局長	2
認知症介護基礎研修	12.3	岡山県社協	きらめきプラザ	介護士	2
感染症対策研修会	12.4	美作保健所	リージョンセンター	看護師	1
美作地区老施協施設長研修会	12.5	美作地区老施協	鶴山ホテル	理事長、施設長	2
虐待防止研修	12.6	地域包括支援センター	市総合福祉会館	介護士	9
岡山県経営協セミナー(後期)	12.18	県経営協	ピュアリティまきび	事務員	1
認知症カフェ交流会	12.18	地域包括支援センター	市総合福祉会館	相談員	1
経営青年会クリエイトセミナー	R2.1.16	県経営協	きらめきプラザ	相談員	2
医療・介護の連携を考える研修会	R2.1.16	市介護保険事業者連絡協議会	リージョンセンター	看護師長	1
生活支援活動実践セミナー	R2.1.24	県社協	岡山県生涯学習センター	相談員	1
トップセミナー	R2.2.3	全国老施協	ホテルニューオータニ	施設長	1
介護予防・日常生活支援総合事業者説明会	R2.2.3	津山市	津山市役所	在宅部長、相談員	2
キャラバンメイトフォローアップ研修	R2.2.8	津山市包括センター	市総合福祉会館	事務員	1
災害福祉支援セミナー	R2.2.18	県経営協	きらめきプラザ	事務員、事務局長	2
美作地区老施協21世紀委員研修会	R2.2.18	美作地区老施協	市総合福祉会館	介護士、相談員、ケアマネ他	6
集団指導：特養 SS	R2.2.20	岡山県	岡山商工会議所	相談員、事務員	2
県老人福祉施設職員研究発表会	R2.2.21	県老施協	コンベンションセンター	音楽療法士、介護士	2
津山市生活支援体制整備協議体	2回	津山市	津山市役所	施設長	1
津山市在宅医療・介護連携推進協議会 入退院支援部会	3回	津山市	津山市役所	施設長	1
生活支援サポーター訪問サービス事業情報交換会	2回	津山市	津山市役所	相談員	1
津山市介護保険事業者連絡協議会	3回	市介護保険事業者連絡協議会	津山市役所	施設長	1
岡山県老施協21世紀委員会 幹事会	2回	県老施協	きらめきプラザ	事務員	1
県老施協 研修委員会	2回	県老施協	きらめきプラザ	施設長	1
県老施協 理事会	3回	県老施協	きらめきプラザ	施設長	1
北部高等技術専門校運営協議会総会	2回	北部高等技術専門校運営協議会	北部高等技術専門校	事務局長/在宅部長	2
地域ネットワークコミュニティ会議	3回	介護労働安定センター	雇用労働センター	事務員	1

※ 求人活動

催 事 等 名	職 名	日 程	人数	場 所	主 催
合同企業説明会in美作大学	局長・部長	R1.5.26	2	美作大学	津山広域事務組合
55歳からのお仕事紹介フェア	局長・部長	R1.6.18	2	津山圏域雇用労働センター	津山市生涯現役促進協議会
県北若者・学生等就活応援フェア2020	局長・部長	R1.6.26	2	津山市総合体育館	津山公共職業安定所等
北部高等技術専門校就職説明会	局長	R1.7.31	2	北部高等技術専門校	岡山労働局職業安定部訓練室

催 事 等 名	職 名	日 程	人 数	場 所	主 催
福祉の就職総合フェア岡山 夏	局長・部長・相談員	R1.8.25	3	岡山コンベンションセンター	岡山県社会福祉協議会
津山市地域雇用創造協議会合同就職面接会	局長・部長	R2.2.8	2	津山圏域雇用労働センター	津山市生涯現役促進協議会
福祉の就職総合フェア岡山 冬	部長・介護士	R2.2.22	3	岡山コンベンションセンター	岡山県社会福祉協議会

〈別紙4〉 令和元年度 ユニット報告書

〈〈ユニット3〉〉

『入居者一人一人が穏やかに生活が送れるように関わりを多く持ちます』を重点目標として取り組みました。

- ・ 24Hシートを活用しその人の暮らしに合ったケアが行えるよう努め、変わった事がある時はその都度見直しを行いました。
 - ・ 一人一人の思いに答えられるよう関わりを多く持ち、馴染みの関係が築けるよう努めました。
 - ・ 常に笑顔を決やさず、丁寧な声掛けで、思いやりのあるケアができるよう努めました。
 - ・ 入居者同士の関わりを大切にし、楽しく穏やかに過ごして頂くよう支援しました。
 - ・ 毎月のユニットミーティングが行えなかったのが反省点です。職員同士で情報共有をし、統一したケアができるよう努めていきたいです。
 - ・ 来年はユニットでできる行事を増やして楽しみを持っていただき、お互いが笑顔の絶えない明るいユニット作りができるよう努めていきたいです。
- ・ ユニット行事費用：誕生会ケーキ 1500円
各行事の作品の材料費 500円～1500円
飲み物 3000円～5000円
日用雑貨 3000円
- ・ ユニット会議： 1回／3ヶ月 3・4ユニット合同 当日の出勤者4～5名参加
- ・ ユニット行事： 誕生会（該当月） 15名～20名参加

〈〈ユニット4〉〉

『入居者一人一人の個性と意思を尊重し、入居者が穏やかに暮らせるユニットケアを実践します』を重点目標として取り組みました。

- ・ 24Hシートを活用し、必要に応じた見直し・更新を行い、ケアの統一に努めました。
 - ・ 一人一人の個性と意思を尊重し、関わりを多く持ち、入居者が穏やかに暮らせるよう努めました。また、入居者同士の関わりを大切にし、楽しく穏やかに過ごしていただけるよう支援しました。
 - ・ 介護士主体のケアにならないように、ケアの向上に努め、少しの変化にも気付けるように努めました。
 - ・ 毎月のユニットミーティングが中々行えませんでした。情報共有の場がもてるように努めていきたいです。
 - ・ 来年度は誕生会以外にもユニット内でできる事を増やしていけたらと思います。
- ・ ユニット行事費用：誕生会ケーキ 1500円
各行事の作品の材料費 500円～1500円
飲み物 3000円～5000円
日用雑貨 3000円
- ・ ユニット会議： 1回／3ヶ月 3・4ユニット合同 当日の出勤者4～5名参加
- ・ ユニット行事： 誕生会（該当月） 15名～20名参加

〈〈ユニット5〉〉

『一人ひとりの思いを大切にし、その人らしい生活と笑顔あふれるユニット作り』を重点目標として一年間ユニットスタッフ一丸となり取り組みました。

- 入居者一人ひとりにあったケアを統一する為に、しっかりと関わりを持ちながら観察を行い、24時間シートに反映できるように心がけました。24時間の生活を安心して過ごしていただけるようにスタッフ間で情報が共有できるように、U5,6共通の申し送り簿を活用しました。
- 日々のアクティビティーは、塗り絵、折り紙、風船バレー、数字並べゲーム、雑誌等を豊富に用意して、個々にあったアクティビティーを楽しめるように勧めました。
- 今後も、声にならなくても表情や体調の変化を見逃さない様に、入居者の立場で考えて、心に寄り添う丁寧なケアを心掛けていきたいと思っております。
- ユニット行事費用：誕生会や行事の食事代 1000円～3000円/月
日用品や飲み物代 3000円～5000円/月
各行事の材料代 500円～1000円/回
- ユニットミーティング： ユニット5, 6合同 当日4～5名参加
- ユニット行事： 行事計画に沿って実施

《ユニット6》

一人ひとりが穏やかに生活が送れるように個々にあったケアを行うことに取り組みました。

- 月1回のユニットミーティングはなかなか開催できませんでしたが、状態の変化やケアの中で、検討や変更をするべきことを、その都度ユニット職員で話し合い、必要であれば各専門職とも連携し、変更検討を繰り返しながら、入居者が安心して生活して頂ける様に努めました。
- ユニットから出かける楽しみを感じて頂ける様に、体調に配慮しながら行事や、様々な活動に参加して頂きました。入居者同士の交流や、職員とのコミュニケーションをしっかりと行うことで、楽しみを持って穏やかにすごして頂くことができました。また、その事で、入居者の身体的、精神的変化に気付ける様に心がけました。
- ユニット行事費用：送別会や誕生会、行事のおやつ 2000円～4000円
各行事の作品の材料費 1000円～1500円
飲み物 3000円
日用雑貨（掃除用品など） 3000円
- ユニット会議： 1回/3ヶ月 5・6ユニット合同 当日の出勤者4～5名参加
- ユニット行事： 送別会 誕生会 15名～20名参加

《ユニット7》

『適切な距離感、信頼の関係を保ちながら気持ちの良い生活空間を作ります』を重点目標として、ユニット職員で一年間取り組んできました。

- 入居者に不快な思いをさせないように、日頃から言葉遣いに気をつけて入居者と関わりました。
- 笑顔で毎日生活してもらえるように入居者の立場になって寄り添えるようにコミュニケーションを取り、入居者の楽しみがもてるように行事に参加していただきました。
- 月一回のユニットミーティングが中々実施できませんでしたが、職員同士で入居者のケアの中でその都度状態の変化などをスタッフと話し合い、入居者に安心して生活が送ってもらえるようにケアに努めました。
- ユニット費： 誕生日会の飲食代： 1000円程度/月
飲み物、日用雑貨 3000～8000円程度/月
- ユニット会議： 毎月1回 ユニット7・8合同 当日参加者4～6名
- ユニット行事： 行事計画に沿って実施。該当者がいる月は誕生日会を実施しました。

《ユニット8》

『個々のケアの充実を図り、居心地の良いユニットを作ります』を重点目標として取り組みました。

- 席の配置等配慮し、リビングで入居者一人ひとりが居心地良く過ごせる環境を整えました。

- 入居者が安心して過ごせるような接し方で信頼関係を築くよう努めました。
- 誕生会などをユニット7と合同で行い、ユニット間で交流できる機会を作るよう努めました。
- ユニット費：

誕生日会の飲食代：	1000円程度/月
飲み物、日用雑貨：	4000～6000円程度/月
- ユニット会議： 7・8合同で開催 当日の出勤者4～6名が参加
- ユニット行事： 行事計画に沿って実施

《ユニット9》

『入居者が安心・安全な暮らしが送れるユニット作り』を重点目標としてユニットスタッフ全員で取り組みました。

- スタッフ同士報告・連絡・相談をスムーズに行い、入居者の変化にすぐ対応できるよう努めました。
- 入居者一人一人を知るため、アクティビティ等関わりを多く持ちました。その事によって入居者の笑顔が増え、ユニットの雰囲気も明るくなりました。
- 24Hシートの活用があまりできなかった為、手に取りやすく見やすい所に置き、活用できるようにしたいです。
- 毎月ユニットミーティングを行う事ができなかった為、来年度は毎月行えるようにし、スタッフ同士が意見交換や情報共有を行い、入居者が安心・安全な暮らしができるよう支援していきたいです。
- ユニット費：

クリスマス会プレゼント	300円/1人
誕生会飲食代	1000～1500円
各行事の作品材料費	500円～1000円
飲み物・日用雑貨	5000～7000円
- ユニット会議： 1回/3ヶ月 9・10ユニット合同 当日の出勤者4～5名参加
- ユニット行事： 誕生会（該当月） 18名～20名参加
令和元年12月24日 9.10ユニット合同クリスマス会 20名参加

《ユニット10》

『入居者が穏やかに安心した生活を送れるよう、一人一人に合ったケアを行う。』を目標としてユニットスタッフ全員で取り組んできました。

- 入居者の訴えを聞く際に、その人の立場に立って考え、できるだけ気持ちよく過ごして頂けるよう努めました。
- その人らしい生活ができるよう、生活スタイルに楽しみや役割を持っていただけるように支援しました。
- 24時間シートを利用し、ケアの統一を図りましたが、全職員がケアを統一するまでには至りませんでした。
- 毎月ユニットミーティングを行えていなかったのが反省点です。ユニットケアをさらに充実させるために来年度は可能な限り毎月行えるようにし、スタッフ同士で意見交換や情報共有を行い、その人らしい生活がおくれるよう支援していきたいです。
- 平成30年12月7日 9.10ユニット合同クリスマス会 18名参加
- ユニット費：

クリスマス会プレゼント	300円/1人
誕生会ケーキ	1000～1500円
各行事の作品の材料費	500円～1000円
飲み物	3000～5000円
日用雑貨	3000円
- ユニット会議： 1回/3ヶ月 9・10ユニット合同 当日の出勤者4～5名参加
- ユニット行事： 誕生会（該当月） 18名～20名参加
令和元年12月24日 9.10ユニット合同クリスマス会 20名参加

○ ケア向上委員会

《口腔ケアチーム》

1. 歯科衛生士による口腔アセスメントを受けてアセスメント表を作成しました。
2. 口腔アセスメント表を元に、週かわりに各ユニットで、口腔ケアミニ研修を受けたことにより、個々に応じたケアに努めました。また、口腔ケアについての知識・技術の習得がました。
3. 口腔ケア物品（リフレケア、リフレ歯磨きティッシュ）を取り入れたことで口腔内の状態がよくなりました。
4. 誤嚥性肺炎になる入居者が減りました。
5. 口腔ケアの流れとポイントを記載したマニュアルを作成しました。

《排泄・褥瘡予防ケアチーム》

『褥瘡ゼロ（今ある方は治す・新しく作らない）』を目標に、ブレーデンスケールやOHスケールを使用して褥瘡発生リスクの評価を行い、個別の注意点を委員会にて確認しました。

施設内研修として看護師長が各ユニットで正しい陰部洗浄方法の実演講習を行いました。

排泄ケアについては、排泄用品の個々の使用状況を調べ、注意点の確認を行いました。リフレサポート講座参加者による伝達研修では、排泄用品を実際に身に着ける事で理解を深めました。

- ・ 委員会開催： 10回/年
- ・ 褥瘡リスクアセスメント： 4回実施（更新を含む）
- ・ 施設内研修の開催
『排泄・褥瘡予防研修』R1.9.12、10.17、11.20
- ・ 外部研修の受講
リフレサポート講座『紙オムツの基礎知識 当て方のポイント』
R1.9.9、10.11、11.13 （委員2名参加）

《認知症ケアチーム》

認知症ケア委員会では、職員のストレスを減らし、認知症の理解を深める事で認知症に対するケアの仕方が変わり、入居者に安心して暮らしてもらえるのではないかと考えました。

- ・ 平成30年度津山施設研究発表会で発表された、特別養護老人ホーム唐松荘の『認知症高齢者の尊厳に配慮した用語の再検討～どこまでも本人、家族に優しい介護とは～』のDVD視聴研修を行い、施設全体で不適切ケアをなくすよう考えました。

DVD研修会（R1年5月職員会議）

- ・ 全職員の感想を元に委員会メンバーで話し合い、介護士長がとりまとめて報告を行い、全職員で。共有できるよう努めました。
- ・ 職員のストレスについて考えました。
 - ・ 心に少しでも余裕を持ってケアできるようA4サイズのポスターを作成しました。（R2年3月配布）テーマ：「笑顔を忘れないで」
- ・ 委員会内研修の実施
認知症についての正しい知識と理解を深める為、委員会でミニ研修を企画・実施しました。
開催日：R2.2月27日・3月25日
内 容：新人研修の内容
講 師：森事務員
認知症について改めて勉強する事で認知症ケアについて考えるよい機会になりました。

《看取りケアチーム》

多職種協働で「入居者が最期に何を望んでいるか」を考える場を設けました。最期の時まで経口摂取が実現できるようケアに努めました。

- ・ 「看取りケアとは？」をテーマに委員会メンバーで研修をしました。

・看取りケアマニュアルの作成をするために、事例検討を行いました。その結果、看取り期とされた入居者に対し、ユニット職員、専門職が連携して穏やかに旅立ちができるようケアの方法や方針を共有することができました。

・スタッフ間で意見を出し合い、具体的に、現場で役立つケアの検討をしました。

委員会開催：7回/年

グリーンケア研修の開催 R2.3.18 14:00～

○ リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会は『ヒヤリハットの充実』及び『事故原因を把握して共有する』を目標に開催しました。

ひやりハット報告書を『ひやり報告書』『ハット記録表』に分け、ひやり報告書（旧ひやりハット報告書）の様式を検討しました。

ハット記録表を作成し、小さな気づきを把握する工夫に取り組みました。

年2回の全職員に対する研修を通じて事故、ヒヤリハットの件数及び傾向を報告し、共有しました。研修では『事故報告書に必要な情報の検討』、『事故、ひやり、ハットの分け方』についてグループワークを行いました。

回	開催日	参加人数	会議内容
1	H31.4.16	9	・平成30年度の事故及びヒヤリハット報告 ・事例検討 夜間に居室から出た外のベランダを歩いていた。後日転倒し骨折
2	R1.5.21	8	・ヒヤリハットの基準の見直し 些細な気づき（ヒヤとしたこと、ハットとしたこと）を上げるための検討 ・6月の職員全体での研修について
3	R1.6.17	7	・ハットの様式の検討～付箋を使い、一覧に貼り付ける ・ひやりの様式の変更を検討
4	R1.7.16	6	・事例検討 センサーの入れ忘れがあり、ふくらはぎ裂傷を受傷した ・ひやりの新様式導入について
5	R1.8.19	7	・事例検討 短期間で2回、居室の前で長坐位になっていた。
6	R1.9.17	6	・事例検討 浴室で立位時にふらつき転倒し、腰部、頭部を打撲した
7	R1.10.21	7	・事例検討 熱い飲み物を飲もうとしてこぼれ、大腿部を火傷した ・11月の職員全体での研修について
8	R1.11.18	8	・事例検討 誤薬（服薬ゼリーを混ぜた後、他の方に飲ませてしまった） ・事故報告の傾向
9	R1.12.16	9	・事例検討 他のユニットへ入り、テーブルの薬を持ち去った。（服薬はしていなかった）
10	R2.1.20	7	・事例検討 夜間、センサーの入れ忘れがあり、他ユニットの入口まで歩いていた
11	R2.2.17	9	・平成31年度振り返り、令和2年度計画
12	R2.3.16	9	・事例検討 日中に建物の外へ出られ歩いていた。（敷地内にはいた）

☆研修～対象：全職員 場所：2階会議室～

・令和1年6月28日

1. 平成30年度 事故及びヒヤリハット状況報告
2. 委員会からの事例検討の内容報告
3. グループワーク

架空事例の方が受傷した場合の事故報告書を読んで、事故報告書の記入は他にどんなことが必要か考える。

・令和1年11月26日

1. 平成31年4月～10月 事故及びヒヤリハットの状況報告
2. 新様式（「ひやり報告書」「ハット記録表」）の基準、書き方の説明
3. グループワーク

事故の事例20個を「事故」「ひやり」「ハット」に分ける。

○ アクティビティ委員会

今年度は「生活を活性化させる、楽しみの持てるアクティビティを計画する」と目標を立てて、委員会メンバーを中心に、各部署、各ユニットの協力を得ながら活動しました。書道クラブでは、作品を地域の文化展に展示したり、全国の書道展に出展し、意欲の向上につながるように支援しました。地域文化展に作品を見に外出したり、全国の書道展ではご自分の作品が賞状になって届き、賞状をもらう喜びを感じていただきました。また、初めての取り組みとして、他ユニット入居者や職員と一緒にサンルームで外の景色を見ながら食事をするガーデンランチの開催や寿司ボランティアの来園により、握り寿司をご家族や職員と一緒に召し上がっていただくなど、生活の中に潤いや楽しさが持てるように支援しました。サンルームでの花いっぱいの庭をみながらのお食事は格別でした。「寿司が食べたい。」との希望も多く、大将の握った寿司を口にしながら、「美味しい。」と話されている表情は忘れられません。園外支援では、地域の文化展や民謡教室の発表会の見学など、地域の方々との交流の機会が持てました。個々の夢の実現に向けて、リクエストカードを作成して、計画をたてて実行しました。ご自宅に帰るお手伝いや、買い物外出、「刺身が食べたい。」等の希望に対応しています。

クラブ 行事企画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
書道	19	26	18	22	19	13	22						139
ガーデン ランチ			7	6		7	7						27
絵手紙教室			20										20
寿司ボラン ティア							58 (12)						58
園外支援								6					6
リクエスト カード		1	2	1		1			1			1	7

※寿司ボランティアの()内は家族参加人数

アクティビティ委員会会議開催：毎月1回 6～10名参加

○ 食事を考える委員会

生活の楽しみである食事について、入居者、家族、職員の意見や要望を反映させながら、高寿園ならではの食事について考えました。栄養課と協働して、季節感、生活感、地域性などを感じられるように、日々の行事食に合わせた行事カードなどを取り入れることで、食事に楽しみや変化を持たせることを目指しました。

9月16日	敬老の日	1月1日	元旦おせち
10月20日	お祭り献立	2月3日	節分
12月31日	年越しそば	3月20日	春分の日

毎日のメニューが知りたいとの要望をうけ、毎月の献立表を各ユニットに掲示できるようにしました。

- ・委員会開催：5回

○ 花と緑いっぱい委員会

今ある施設の植物を大切にすよう、水やり・草取りをフロアごとに分担して実施しました。委員以外の職員の協力を得て、水やりや植物の管理を行なう等、施設全体で取り組みました。草取り実施表を作成し、各担当場所の草取り実施状況を把握して共有をしました。

回	開催日	参加人数	書面による 参加人数	会議・活動の内容
1	4月18日	7人	2人	・草取り ・委員会の活動内容について
2	7月18日	4人	2人	・草取り、水やりの場所の分担場所について
3	9月19日	6人	0人	・草取り、水やりの担当場所・担当部署を割り振りしてからの状況と報告